



2024年度 第3四半期（4-12月） 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役（兼）専務執行役員CFO 堀越 健
執行役員経営管理部長 菱沼 聖史

2025年1月31日（金）

目次

I.2024年度 第3四半期（4-12月）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2024年度 第3四半期（10-12月）の概要
- P7-P8 : 2024年度 第3四半期（4-12月）の概要
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2024年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P11 : <リテールファイナンス> 2024年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2024年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

II.2024年度の業績見通し <P14-P25>

- P15 : 2024年度の業績見通し
- P16-P21 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P22-P24 : <建設機械・車両> 鉱山機械の市場動向・需要推移・売上高の見通し
- P25 : <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し

参考資料 <P26-P36>

- P27-P31 : 四半期毎の状況
- P32-P33 : <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し（一般建機および鉱山機械）
- P34 : Komtrax 月平均稼働時間推移
- P35-P36 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I . 2024年度 第3四半期（4-12月）決算の概要

2024年度 第3四半期（10-12月）決算の概要

- ・売上高は、前年同期比+1.8%増収の9,892億円。
- ・営業利益は、前年同期比+4.0%増益の1,626億円。売上高営業利益率は、+0.3ポイント上昇し16.4%。
- ・純利益は、前年同期比+9.7%増益の1,083億円。

金額単位：億円	2023年度10-12月 ¥149.7/USD ¥159.9/EUR ¥96.7/AUD	2024年度10-12月 ¥148.8/USD ¥161.4/EUR ¥99.0/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	9,720	9,892	+172	+1.8%
セグメント利益	1,533	1,637	+105	+6.8%
その他の営業収益（▲費用）	32	▲ 11	▲ 43	-
営業利益	1,564	1,626	+62	+4.0%
売上高営業利益率	16.1%	16.4%	+0.3ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 142	▲ 131	+11	-
税引前四半期純利益	1,423	1,495	+73	+5.1%
当社株主に帰属する四半期純利益	987	1,083	+96	+9.7%

2024年度 第3四半期（10-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期並みの9,182億円。
セグメント利益は、前年同期比▲1.4%減益の1,470億円。セグメント利益率は、▲0.2ポイント低下し16.0%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+11.1%増収の302億円。セグメント利益は、前年同期比+22.3%増益の70億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+7.5%増収の499億円。セグメント利益は、前年同期に対し約5.7倍の73億円。

□ : 利益率

() : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2023年度10-12月		2024年度10-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	9,720		9,892		+172		+1.8%	
建設機械・車両	(9,047)	9,182	(9,161)	9,182	(+113)	▲ 0	(+1.3%)	▲0.0%
リテールファイナンス	(213)	272	(238)	302	(+24)	+30	(+11.4%)	+11.1%
産業機械他	(459)	465	(493)	499	(+34)	+35	(+7.4%)	+7.5%
消去	▲ 199		▲ 91		+107		-	
セグメント利益	□ 15.8%	1,533	□ 16.6%	1,637	□ +0.8ポイント	+105	+6.8%	
建設機械・車両	□ 16.2%	1,491	□ 16.0%	1,470	□ ▲0.2ポイント	▲ 21	▲1.4%	
リテールファイナンス	□ 21.0%	57	□ 23.1%	70	□ +2.1ポイント	+13	+22.3%	
産業機械他	□ 2.7%	13	□ 14.5%	73	□ +11.8ポイント	+60	+471.9%	
消去または全社	▲ 28		25		+53		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

売上は、物量減を円安と販売価格改善のプラス影響で吸収し前年同期並み。

利益は、円安と販売価格改善のプラス影響を、物量減、原価や固定費のコスト増のマイナス影響が上回り減益。

■ リテールファイナンス

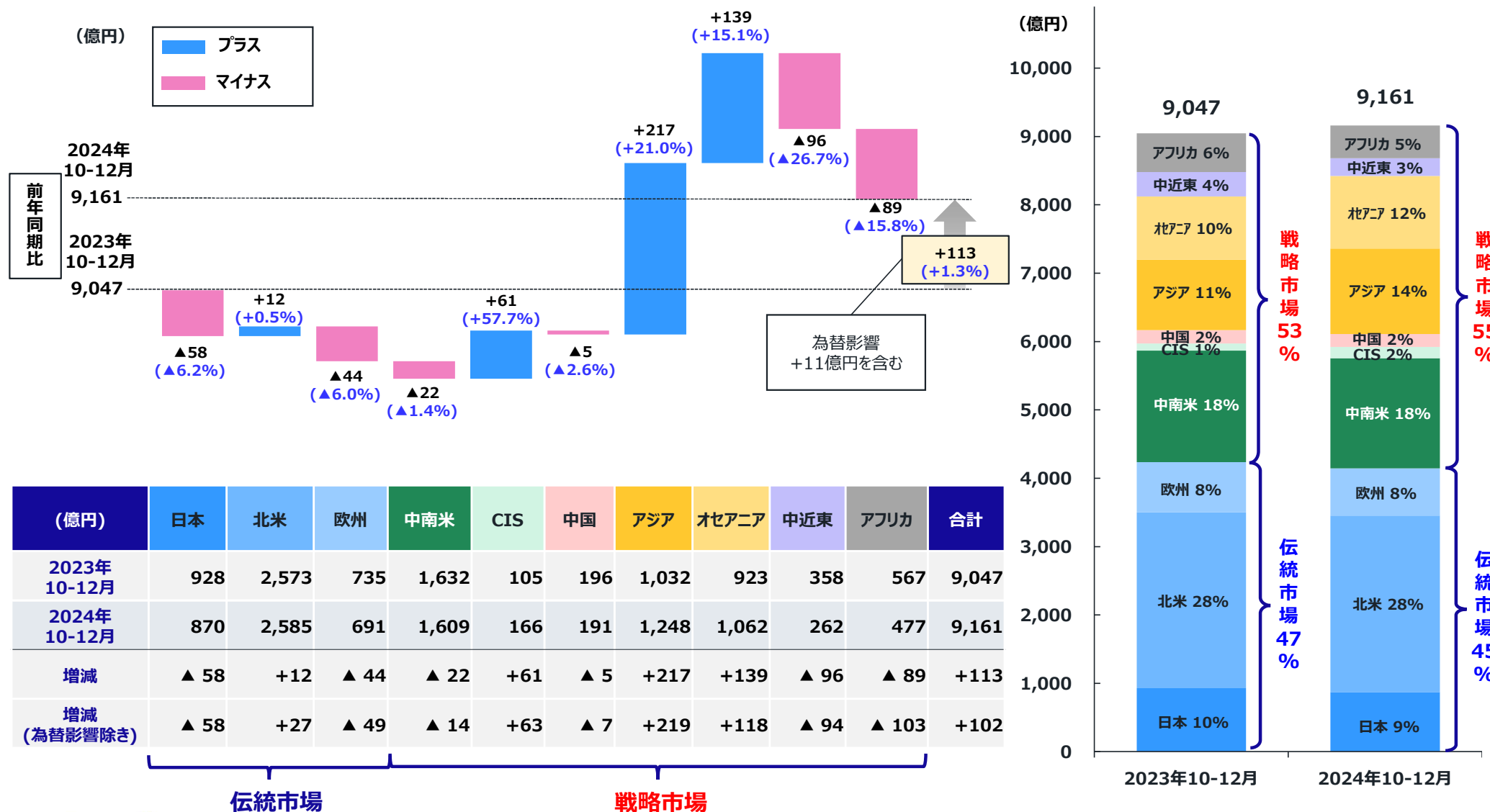
受取金利率の上昇、金融債権の増加などにより増収増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上が回復したことなどにより増収増益。

<建設機械・車両> 2024年度 第3四半期（10-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+1.3%増収の9,161億円。
- ・オセアニアは鉱山機械の販売が増加、アジアはインドネシアの需要回復で増加、中近東、アフリカ、日本などで減少。



2024年度 第3四半期（4-12月）の概要

- ・売上高は、前年同期比+5.8%増収の2兆9,573億円。
- ・営業利益は、前年同期比+2.8%増益の4,661億円。売上高営業利益率は、▲0.4ポイント低下し15.8%。
- ・純利益は、前年同期比+1.9%増益の3,101億円。

金額単位：億円	2023年4-12月 ¥143.4/USD ¥155.0/EUR ¥94.0/AUD	2024年4-12月 ¥152.2/USD ¥164.8/EUR ¥100.8/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	27,950	29,573	+1,623	+5.8%
セグメント利益	4,512	4,676	+164	+3.6%
その他の営業収益（▲費用）	22	▲ 16	▲ 38	-
営業利益	4,534	4,661	+126	+2.8%
売上高営業利益率	16.2%	15.8%	▲ 0.4ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 232	▲ 379	▲ 147	-
税引前四半期純利益	4,303	4,282	▲ 21	▲0.5%
当社株主に帰属する四半期純利益	3,043	3,101	+58	+1.9%

2024年度 第3四半期（4-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+4.7%増収の2兆7,484億円。セグメント利益は、前年同期比▲1.1%減益の4,250億円。セグメント利益率は、▲0.9ポイント低下し15.5%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+23.2%増収の920億円。セグメント利益は、前年同期比+16.6%増益の218億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+11.6%増収の1,467億円。セグメント利益は、前年同期に対し約2.6倍の151億円。

◻ : 利益率

() : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2023年度4-12月		2024年度4-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	27,950		29,573		+1,623		+5.8%	
建設機械・車両	(26,075)	26,258	(27,406)	27,484	(+1,330)	+1,226	(+5.1%)	+4.7%
リテールファイナンス	(582)	747	(716)	920	(+134)	+173	(+23.0%)	+23.2%
産業機械他	(1,292)	1,315	(1,451)	1,467	(+159)	+152	(+12.3%)	+11.6%
消去	▲ 370		▲ 298		+72		-	
セグメント利益	◻ 16.1%	4,512	◻ 15.8%	4,676	◻ ▲0.3ポイント	+164	+3.6%	
建設機械・車両	◻ 16.4%	4,299	◻ 15.5%	4,250	◻ ▲0.9ポイント	▲ 49	▲ 1.1%	
リテールファイナンス	◻ 25.0%	187	◻ 23.7%	218	◻ ▲1.3ポイント	+31	+16.6%	
産業機械他	◻ 4.3%	57	◻ 10.3%	151	◻ +6.0ポイント	+94	+165.4%	
消去または全社	▲ 30		58		+88		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

売上は、円安と販売価格改善のプラス影響が物量減を上回り増収。

利益は、円安と販売価格改善のプラス影響を、物量減、原価や固定費の増加や構成差などのマイナス影響が上回り減益。

■ リテールファイナンス

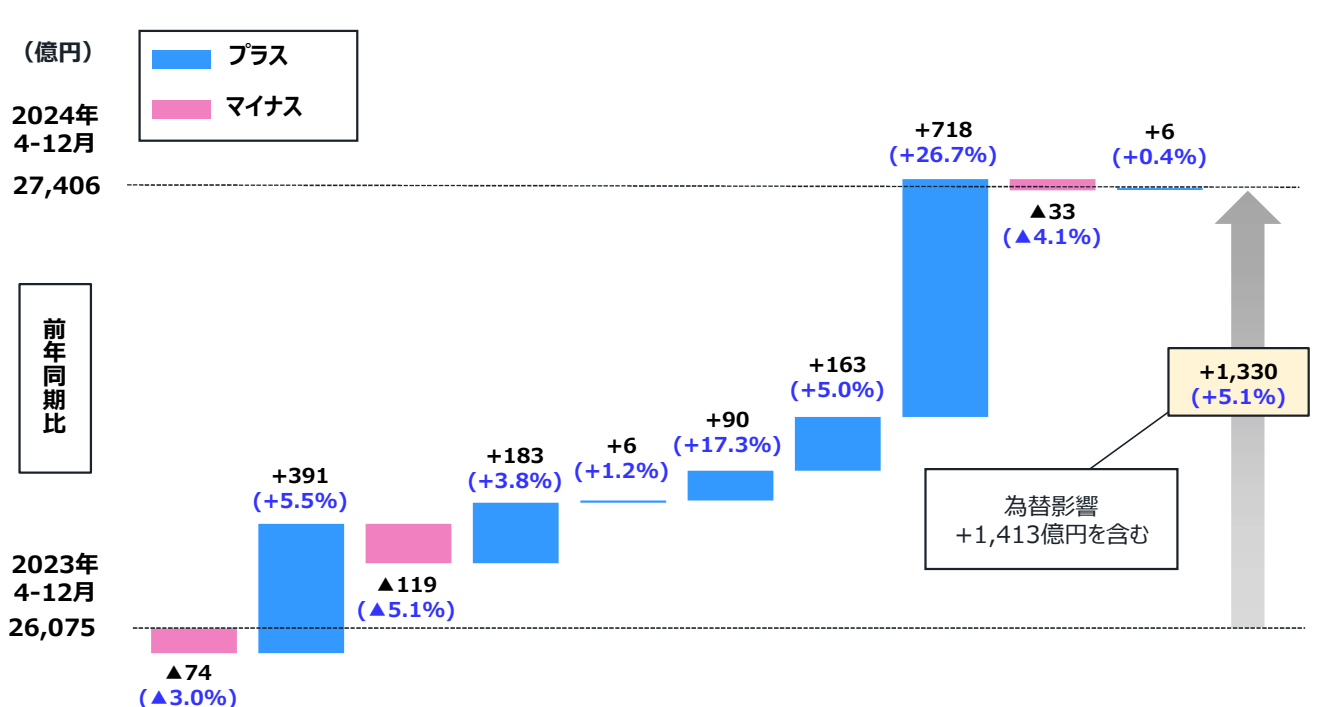
受取金利率の上昇、円安のプラス影響、金融債権の増加などにより増収増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上が回復したことなどにより増収増益。

<建設機械・車両> 2024年度 第3四半期（4-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

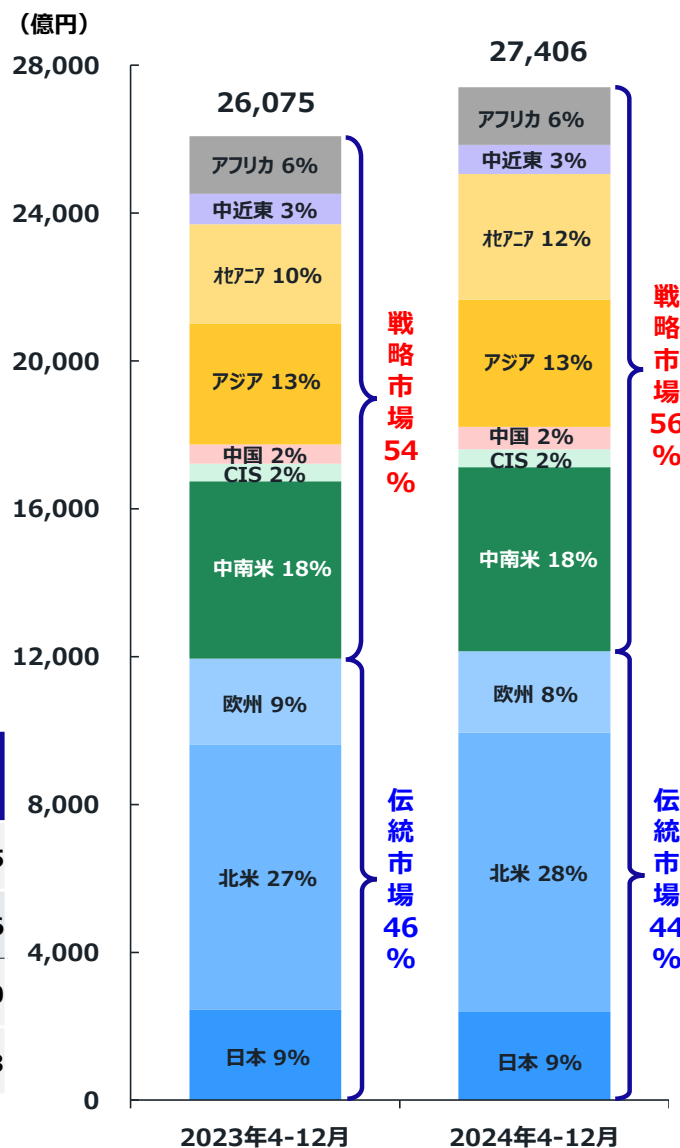
- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比+5.1%増収の2兆7,406億円。
- ・北米、中南米、オセアニアなどで増加。欧州、日本、中近東で減少。



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2023年 4-12月	2,458	7,168	2,318	4,803	475	518	3,271	2,688	818	1,557	26,075
2024年 4-12月	2,384	7,559	2,199	4,987	481	608	3,435	3,405	785	1,563	27,406
増減	▲74	+391	▲119	+183	+6	+90	+163	+718	▲33	+6	+1,330
増減 (為替影響除き)	▲74	▲41	▲247	▲103	▲1	+56	+10	+497	▲71	▲108	▲83

伝統市場 (日本, 北米, 欧州)

戦略市場 (中南米, CIS, 中国, アジア, オセアニア, 中近東, アフリカ)

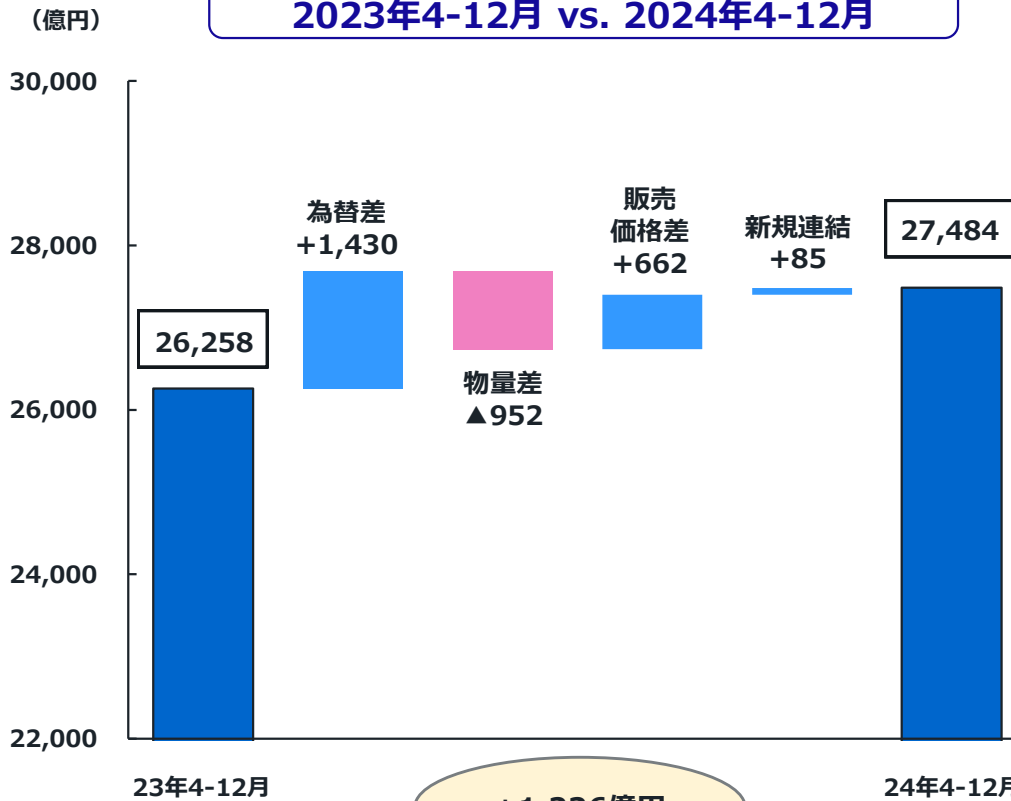


<建設機械・車両> 2024年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、物量減のマイナス影響を、円安と販売価格改善のプラス影響が上回り、前年同期比+1,226億円の増収。
- ・セグメント利益は、円安と販売価格改善のプラス影響があったものの、物量減と原価や固定費のコスト増、構成差のマイナス影響により、前年同期比▲49億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年同期比▲0.9ポイント低下し15.5%。

売上高

2023年4-12月 vs. 2024年4-12月



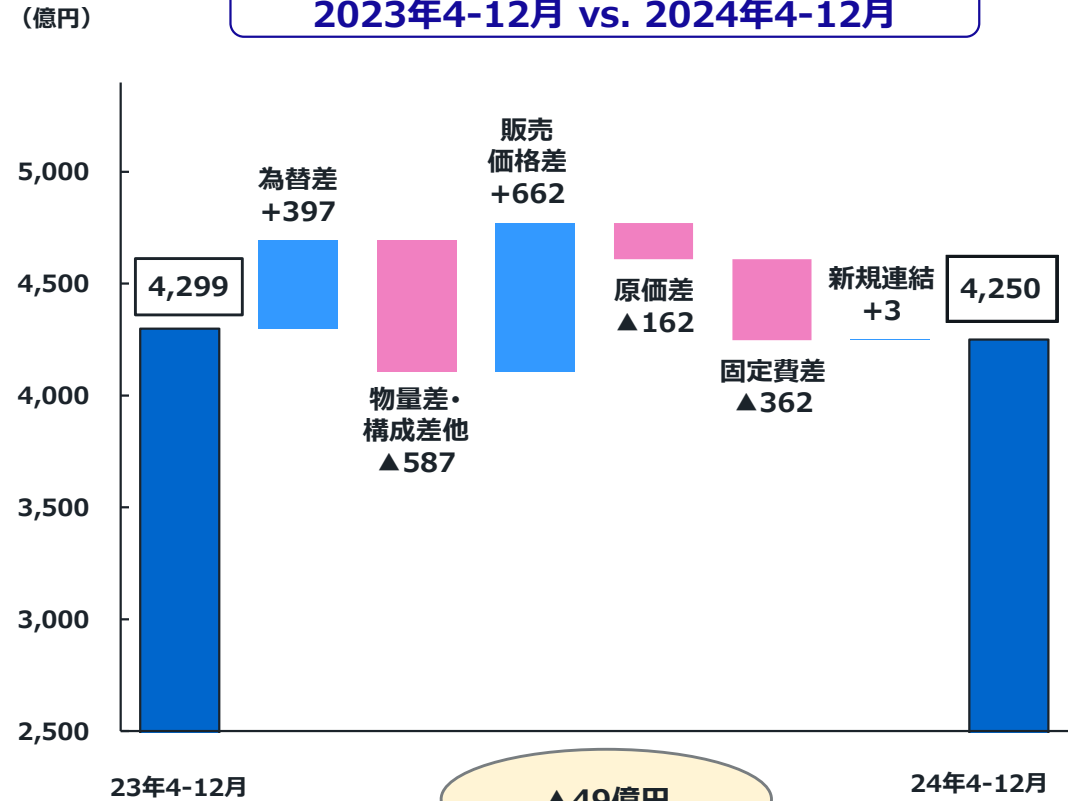
¥143.4/USD
¥155.0/EUR
¥94.0/AUD

プラス要因
マイナス要因

¥152.2/USD
¥164.8/EUR
¥100.8/AUD

セグメント利益

2023年4-12月 vs. 2024年4-12月



16.4%

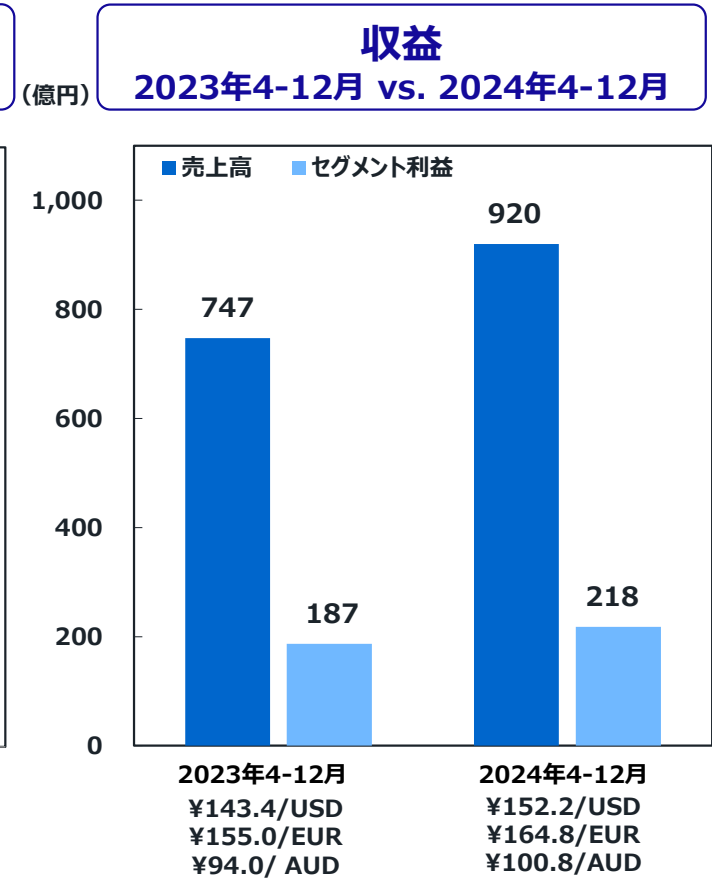
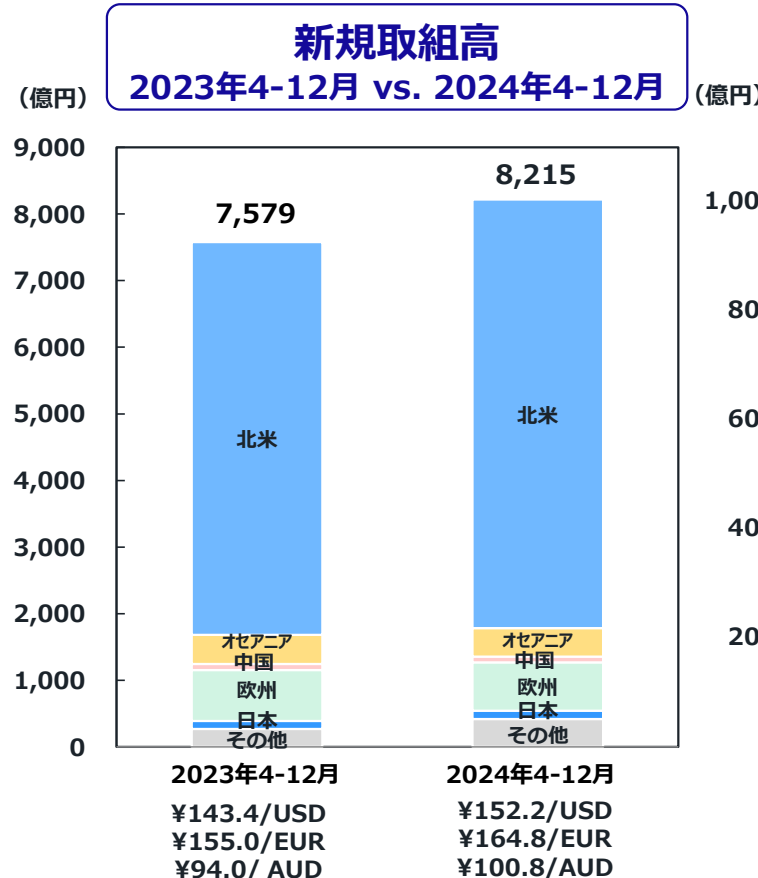
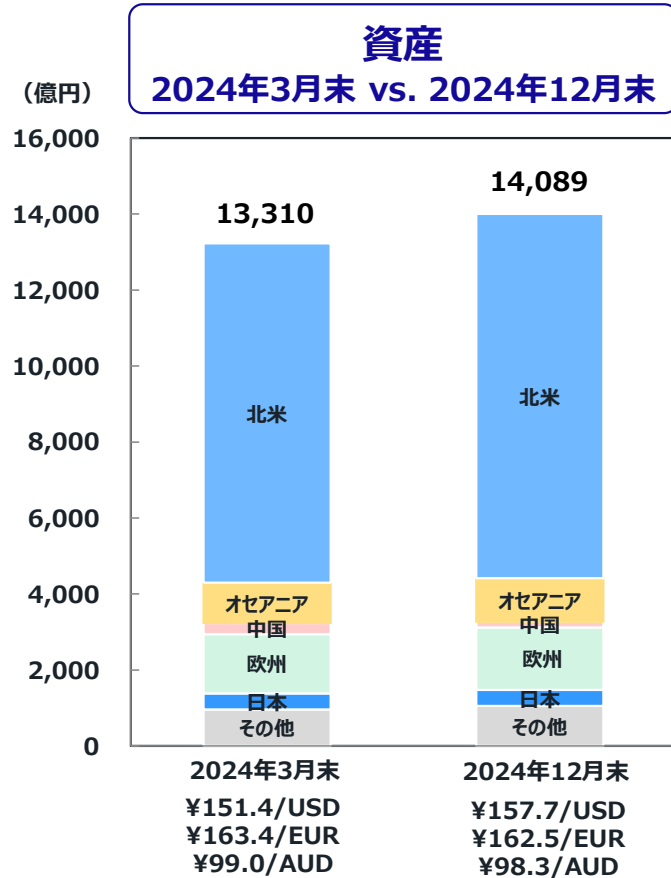
プラス要因
マイナス要因

売上高セグメント利益率

15.5%

<リテールファイナンス> 2024年度 第3四半期（4-12月）の状況

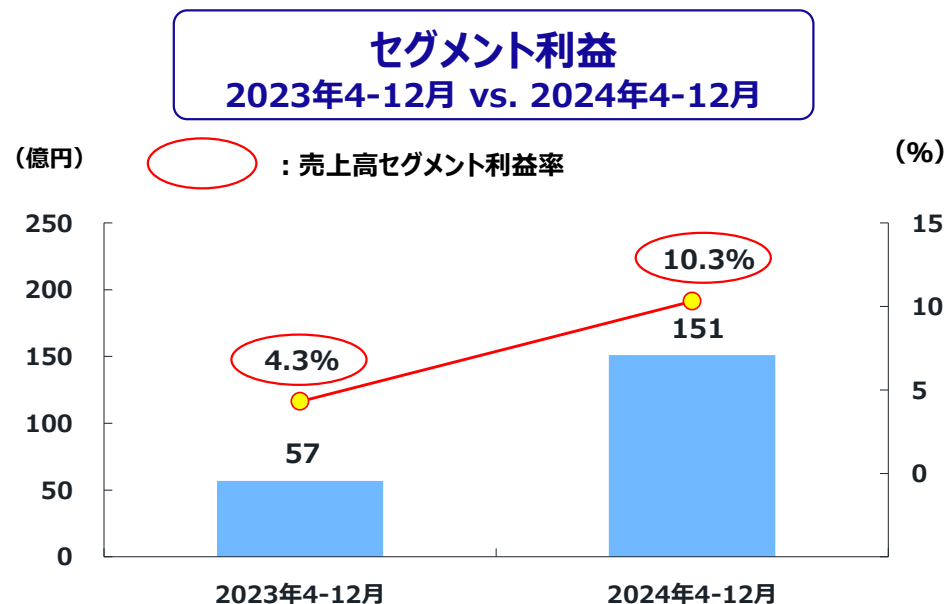
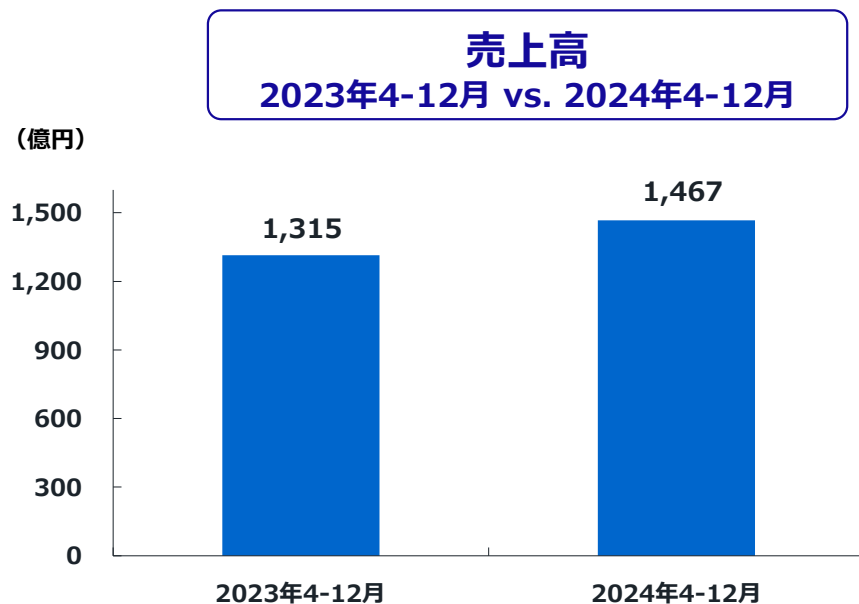
- ・ 資産は、新規取組の増加や前年度末比で当期末が円安となった影響により、前年度末比+779億円の増加。
- ・ 新規取組高は、円安の影響などにより、前年同期比+636億円の増加。
- ・ 売上高・セグメント利益は、受取金利率の上昇、円安のプラス影響や金融債権の増加などにより、前年同期比+173億円の増収、+31億円の増益。



金額単位：億円	2024年3月末	2024年12月末	前年度末比
借入金	10,358	11,108	+749
ネットベースの借入金	10,160	11,045	+885
ネットD/Eレシオ	4.24	4.56	+0.32ポイント

<産業機械他> 2024年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比+11.6%増収の1,467億円。セグメント利益は、前年同期に対し約2.6倍の151億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械・板金機械・工作機械では、主に大型プレスや工作機械の販売増により、半導体産業向けでは、エキシマレーザーのメンテナンス売上が回復したことなどにより増収増益。
- ・売上高セグメント利益率は、10.3%。



売上高の内訳

(億円)	2023年 4-12月	2024年 4-12月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	341	387	+46	+13.6%
コマツNTC	285	319	+35	+12.2%
ギガフォトン	387	431	+44	+11.4%
その他	303	330	+27	+8.8%
合計	1,315	1,467	+152	+11.6%

連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比2,826億円増加の5兆9,192億円。運転資本の増加と前年度末比で当期末が円安となった影響などにより増加。
- ・棚卸資産は、円安の影響に加え、鉱山機械向けの在庫増などにより増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比▲1.0ポイント低下し52.8%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2024年3月末 ¥151.4/USD ¥163.4/EUR ¥99.0/AUD	2024年12月末 ¥157.7/USD ¥162.5/EUR ¥98.3/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	4,032	4,067	+35
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	19,518	20,188	+670
棚卸資産	14,387	15,656	+1,269
有形固定資産	9,081	9,255	+174
その他資産	9,349	10,027	+678
資産合計	56,367	59,192	+2,826
支払手形・買掛金	3,203	3,159	▲44
借入金・社債 [b]	11,994	13,634	+1,640
その他負債	9,185	9,447	+261
負債合計	24,382	26,240	+1,858
（株主資本比率）	（53.8%）	（52.8%）	（▲1.0ポイント）
株主資本	30,336	31,274	+938
非支配持分	1,649	1,678	+29
負債及び純資産合計	56,367	59,192	+2,826
ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	0.26 7,962	0.31 9,568	+1,606
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.08	▲0.05	

Ⅱ. 2024年度の業績見通し

2024年度の業績見通し

・2024年度の業績見通しは、前回の見通し（10月）から変更無し。

(※) 下期為替の前提：1ドル:140円、1ユーロ:149円、1豪ドル:90円

金額単位：億円	2023年度 (A) ¥144.3/USD ¥156.0/EUR ¥94.7/AUD	2024年度 (10月見通し) (B) ¥147.0/USD ¥157.8/EUR ¥95.8/AUD } (※)	前年比 (B) - (A)	
			増減	増減率
売上高	38,651	39,880	+1,229	+3.2%
セグメント利益	6,057	5,950	▲ 107	▲1.8%
その他の営業収益(▲費用)	15	▲ 220	▲ 236	-
営業利益	6,072	5,730	▲ 342	▲5.6%
売上高営業利益率	15.7%	14.4%	▲1.3ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 315	▲ 410	▲ 94	-
税引前当期純利益	5,757	5,320	▲ 436	▲7.6%
当社株主に帰属する当期純利益	3,934	3,760	▲ 174	▲4.4%

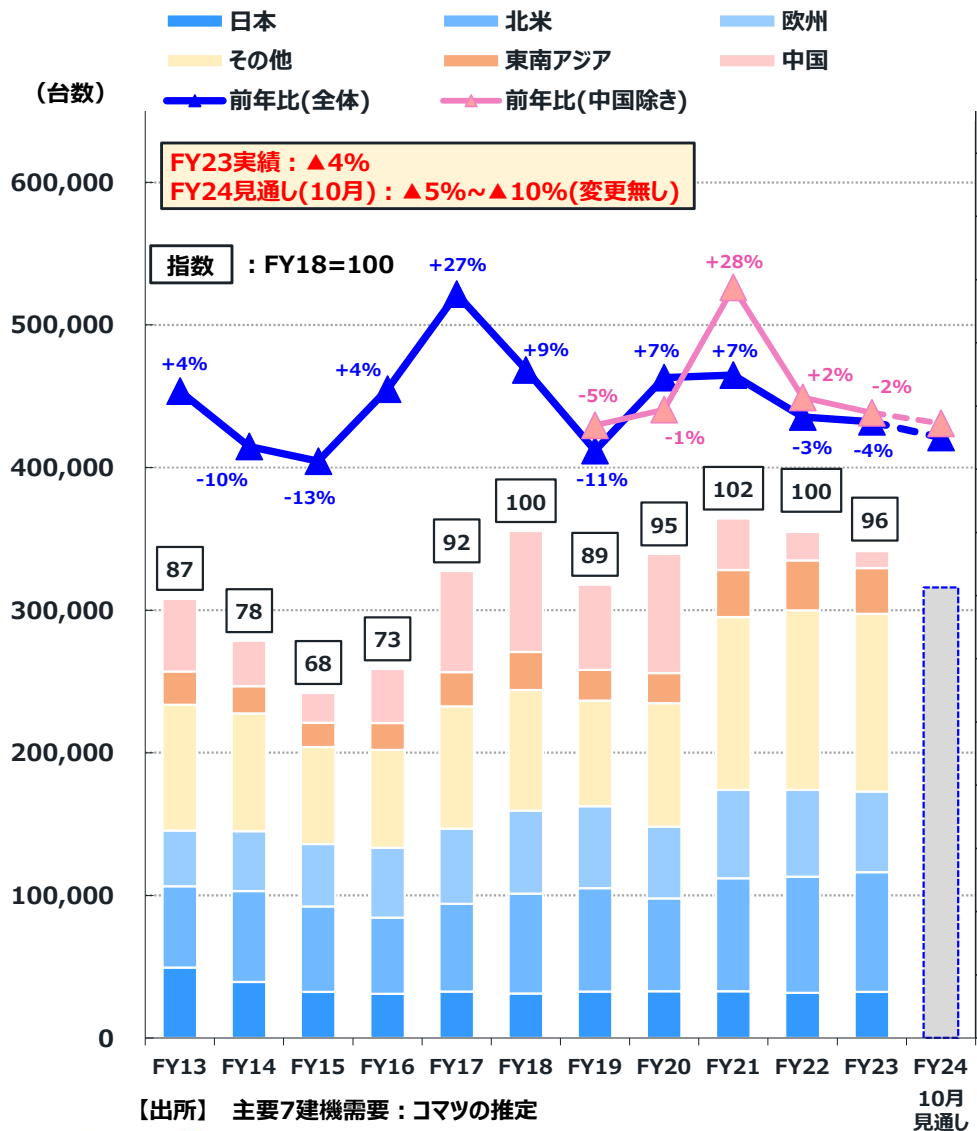
ROE	14.1%	12.6%	▲1.5ポイント
1株当たり配当金（円）	167円	167円	±0円
連結配当性向	40.1%	41.2%	

営業利益への為替感応度（1円変動/年）
 USD：40億円
 EUR：5億円
 AUD：4億円

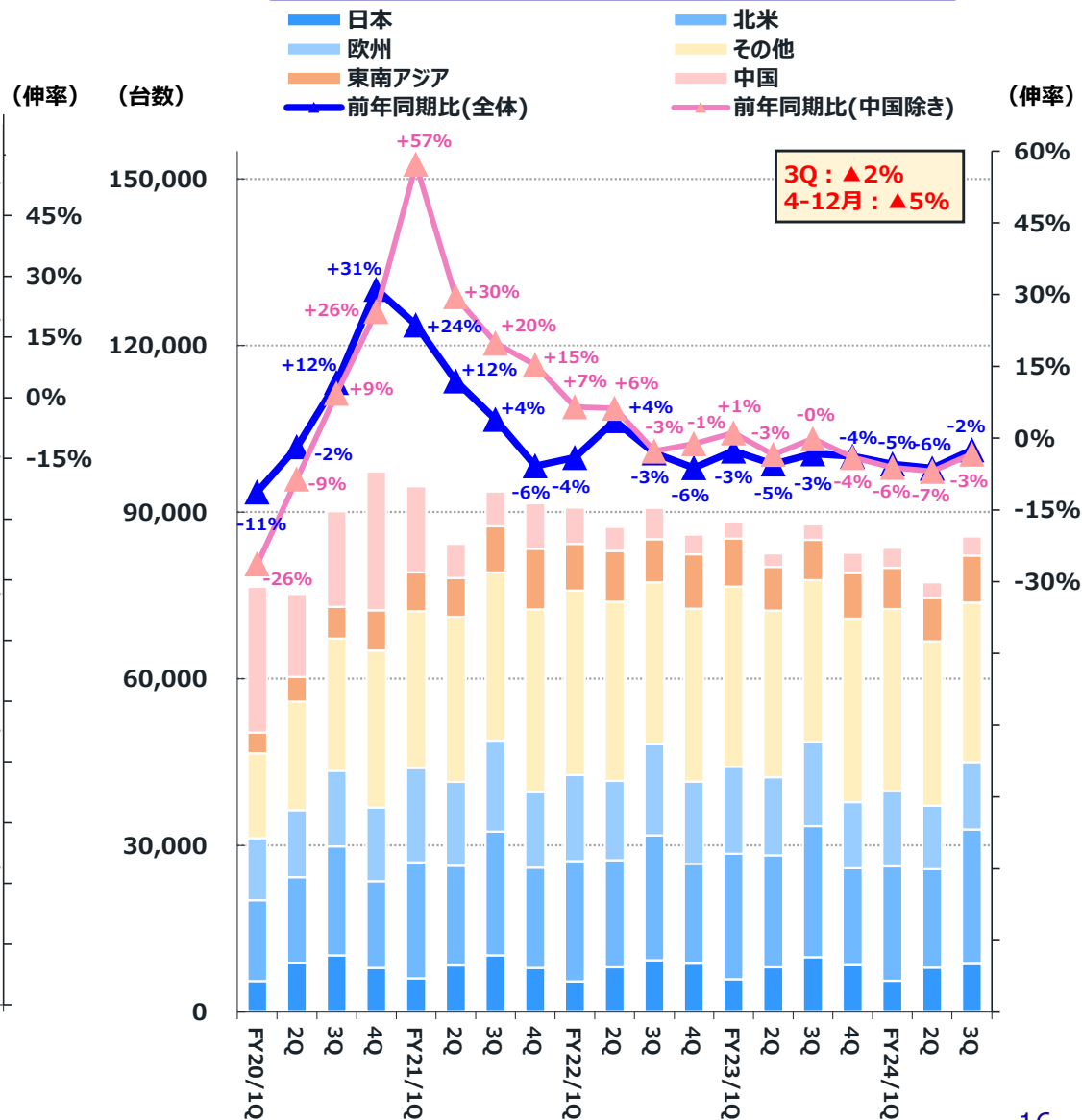
<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2024年度第3四半期の需要は、前年同期比▲2%の減少。
- ・2024年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（10月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移



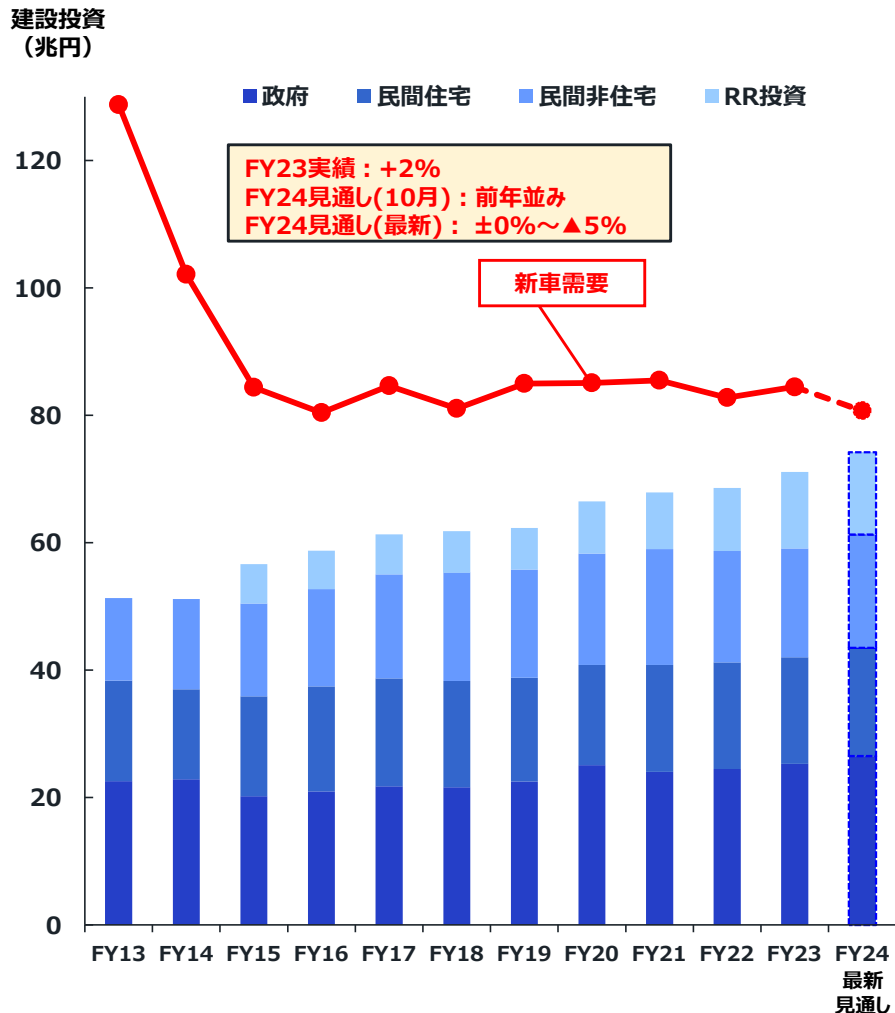
主要7建機 四半期別需要推移



〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①日本

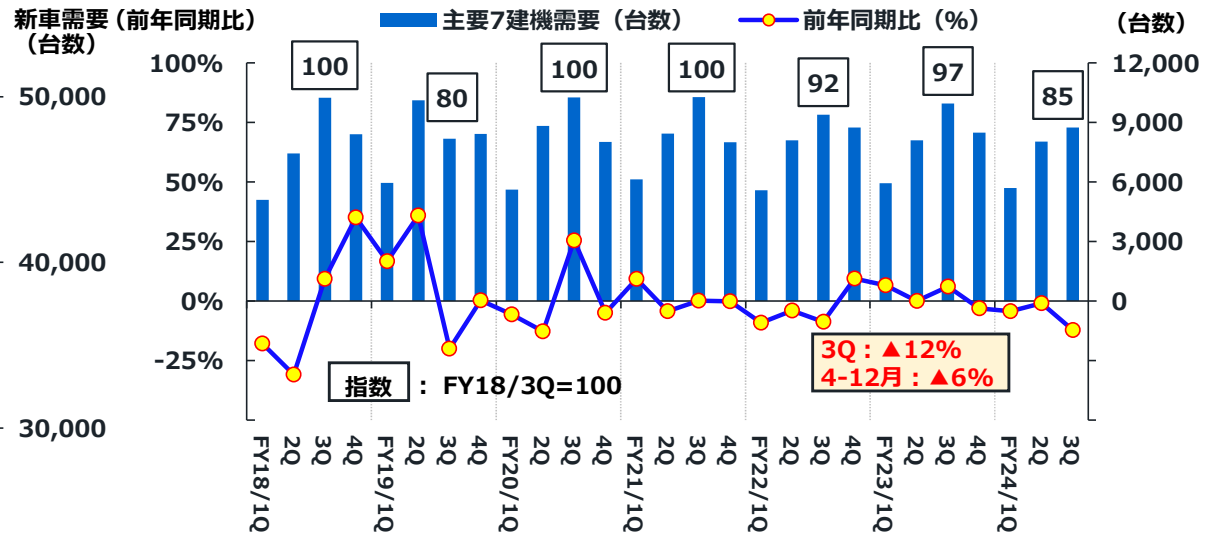
- ・2024年度第3四半期の需要は、主にレンタル向けが減少し、前年同期比▲12%の減少。
- ・2024年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（10月見通しより変更）。

新車需要（主要7建機）と建設投資

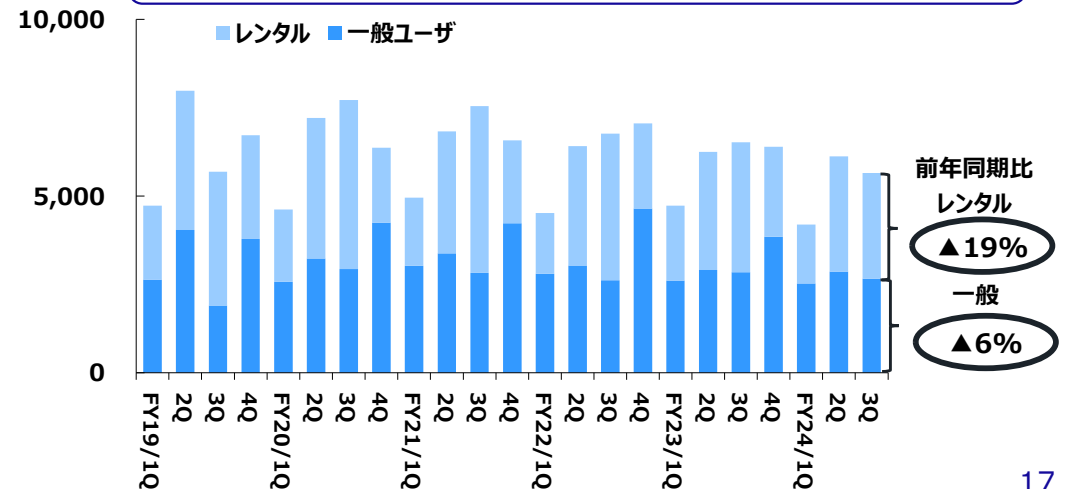


【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

主要7建機 四半期別需要推移



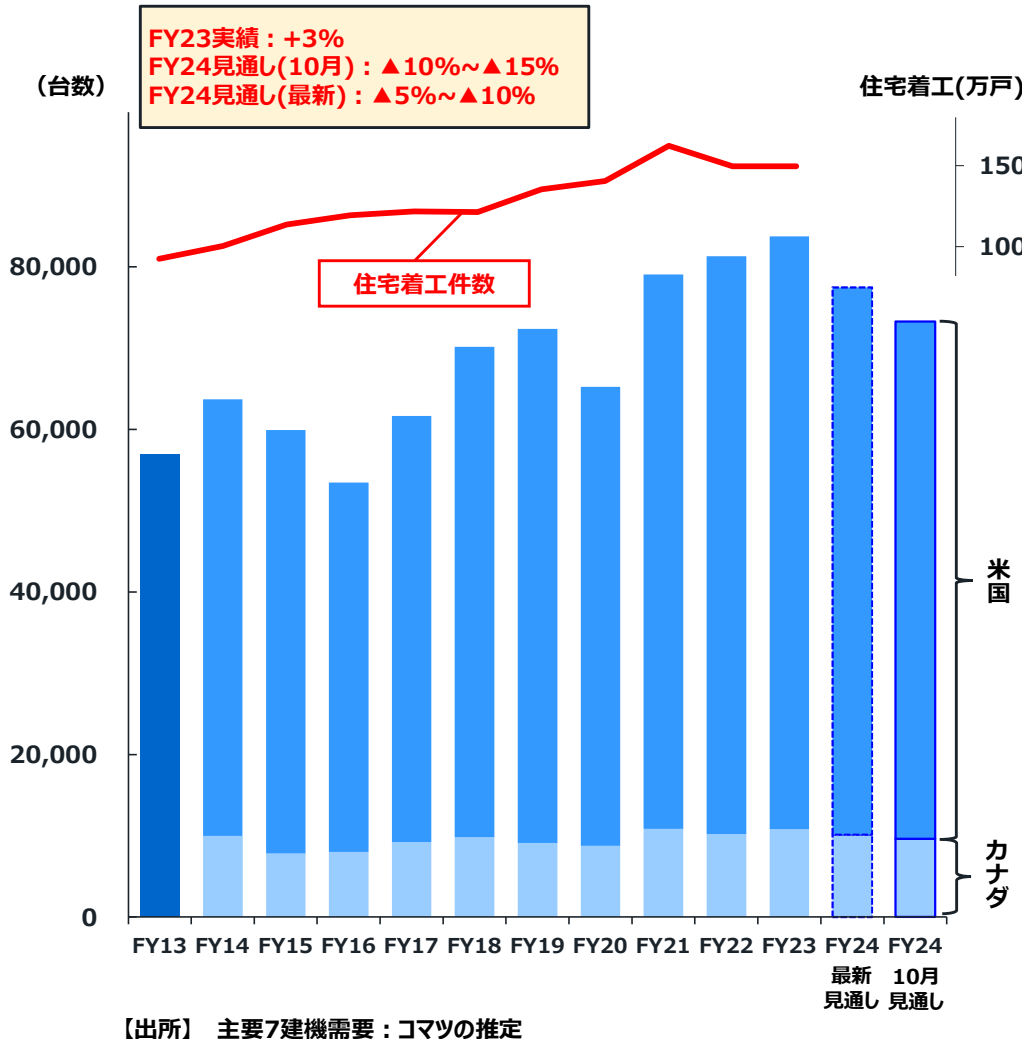
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



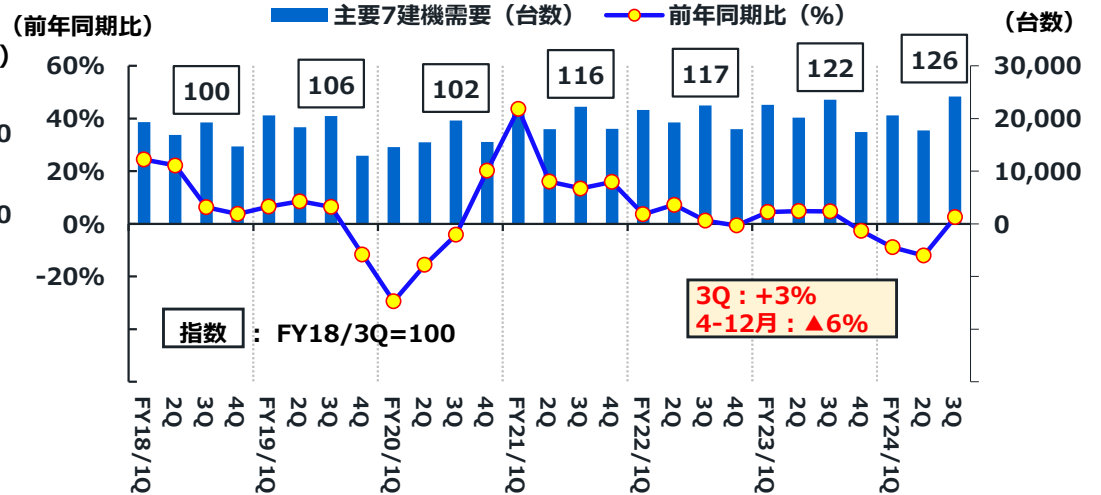
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2024年度第3四半期の需要は、前年同期比+3%の増加。一般建機では、レンタル、エネルギー向け需要が減少したものの、インフラ向け需要は堅調に推移。
- ・2024年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（10月見通しより変更）。

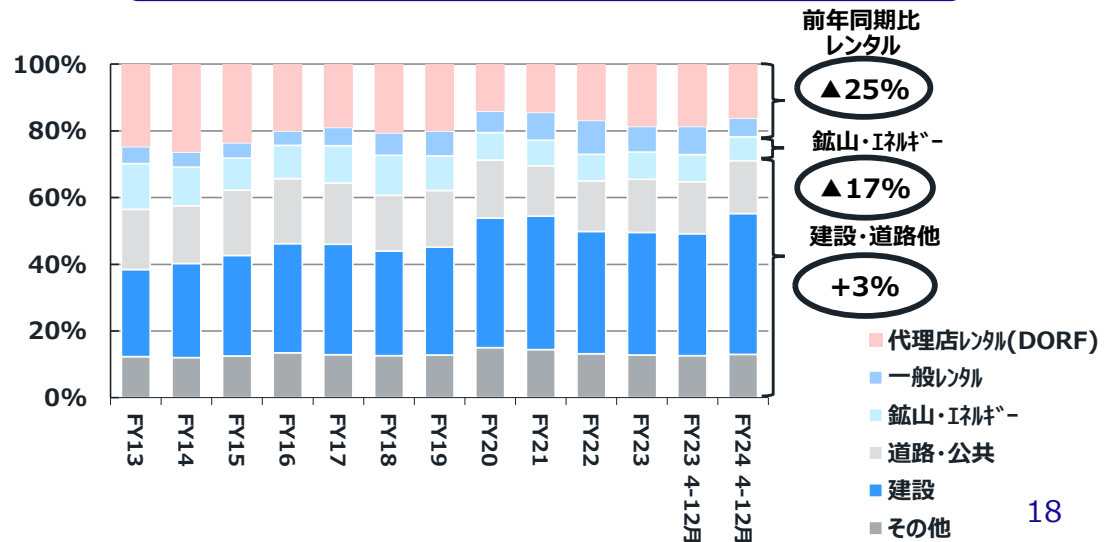
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移



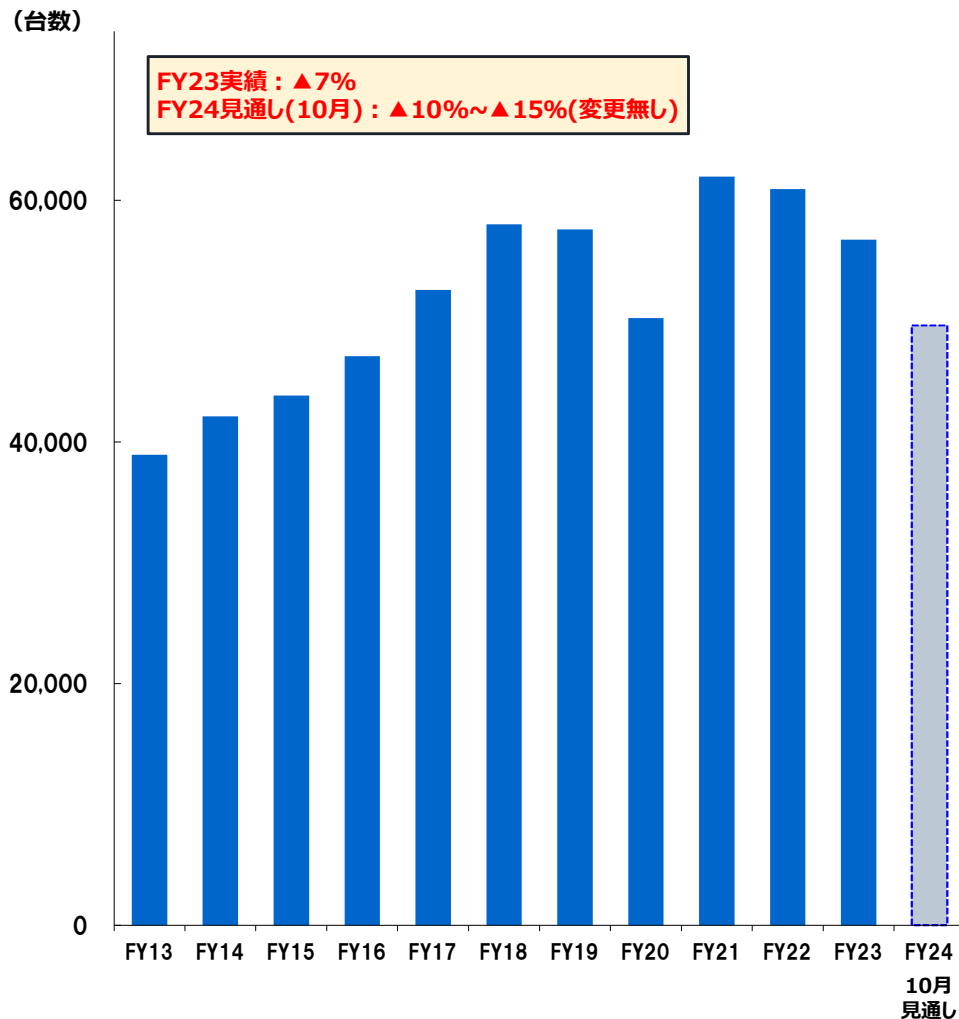
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：③ 欧州

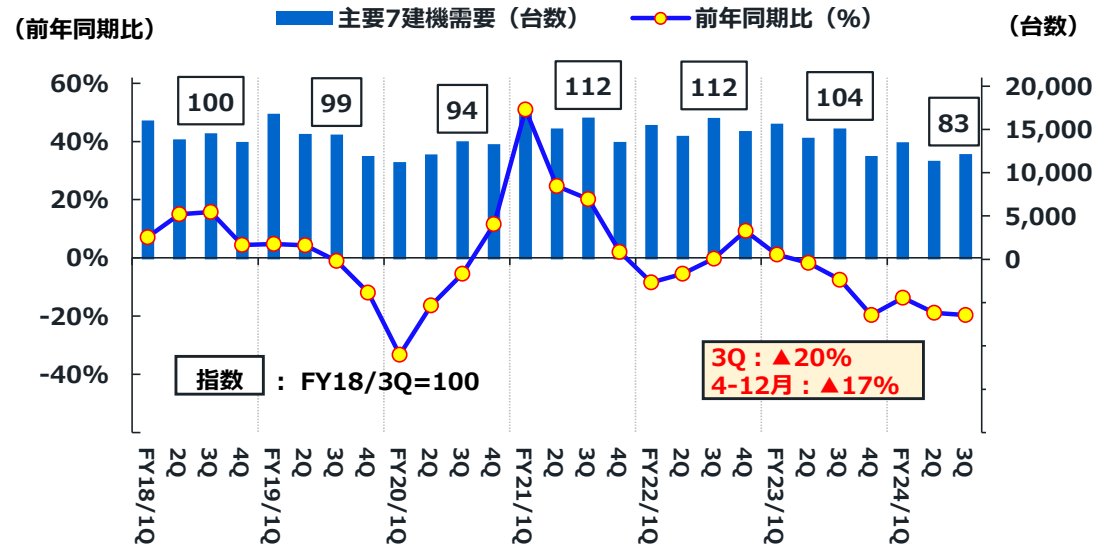
- ・2024年度第3四半期の需要は、前年同期比▲20%の減少。主要市場のドイツ、英国、フランスを中心に一般建機の需要が減少。
- ・2024年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（10月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移

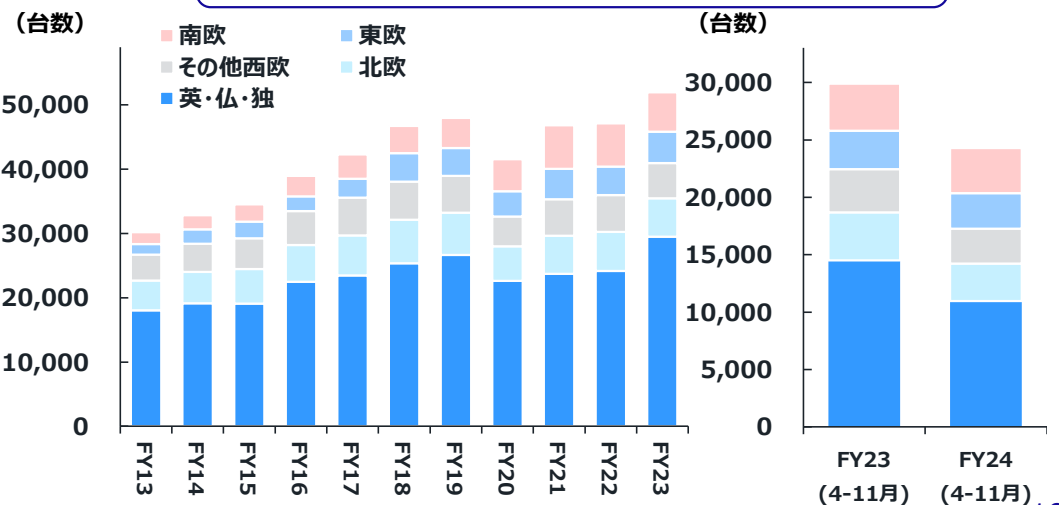


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



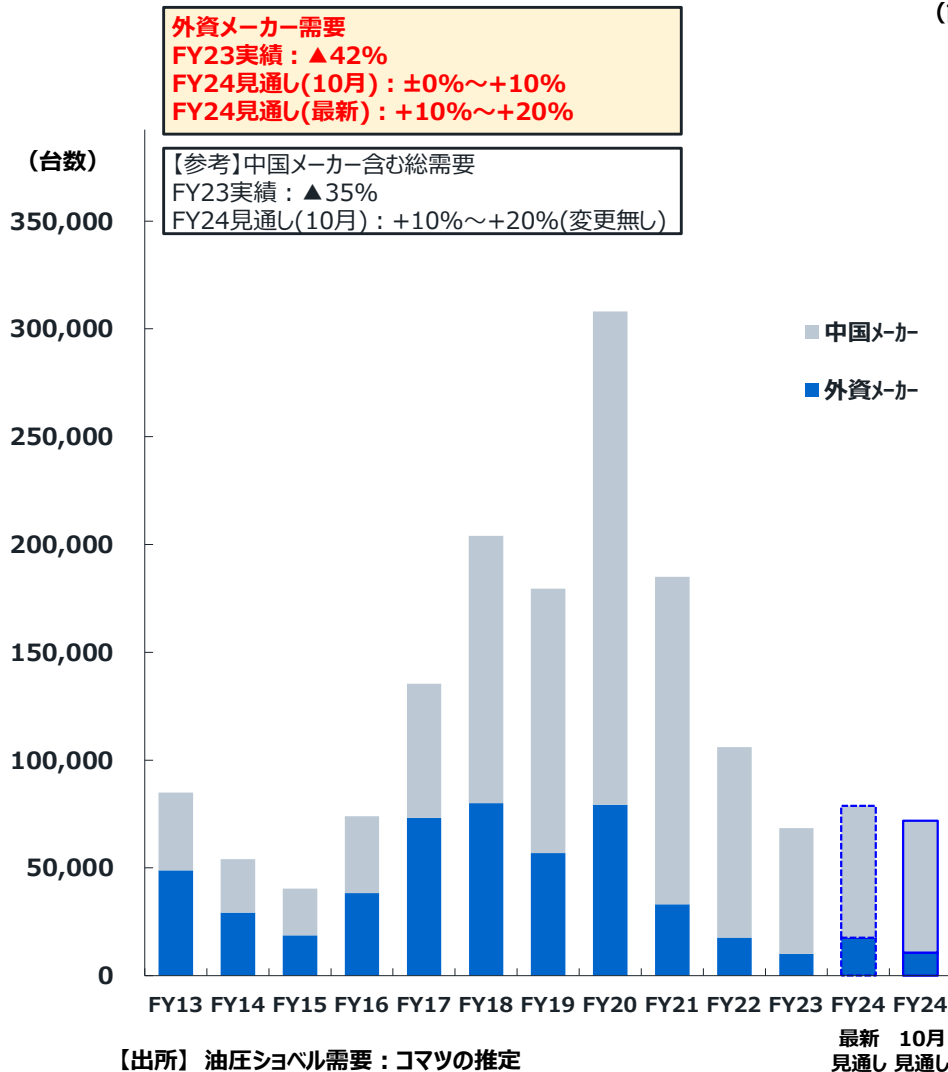
主要7建機 (6クラス除く) 地域別需要



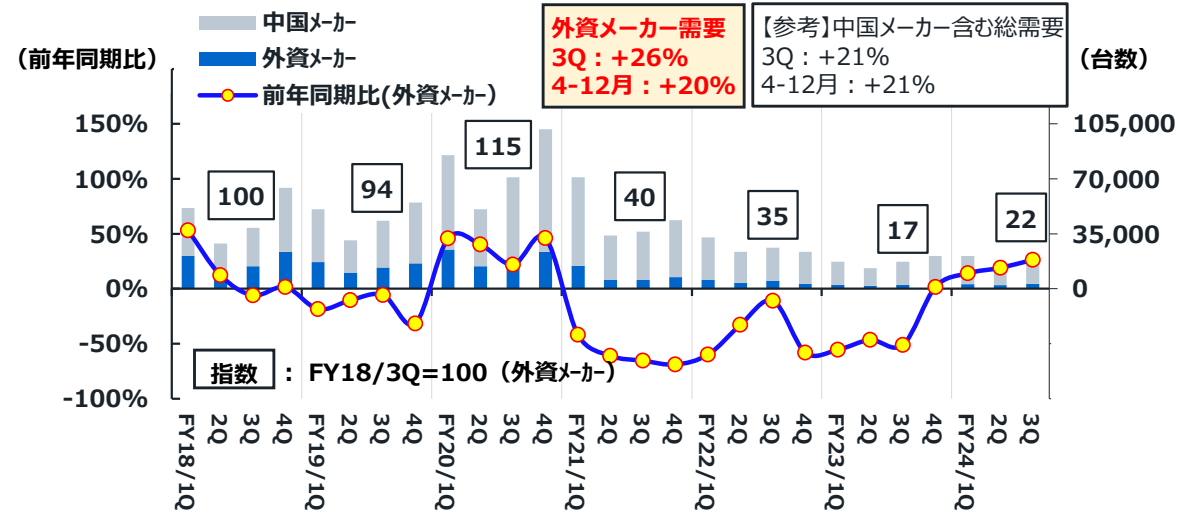
〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：④中国

- ・2024年度第3四半期の需要は、前年同期比+26%の増加。需要の反転は見られるものの、不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞する状況が継続。
- ・2024年度の需要は、前年比+10%～+20%の見通し（10月見通しより変更）。

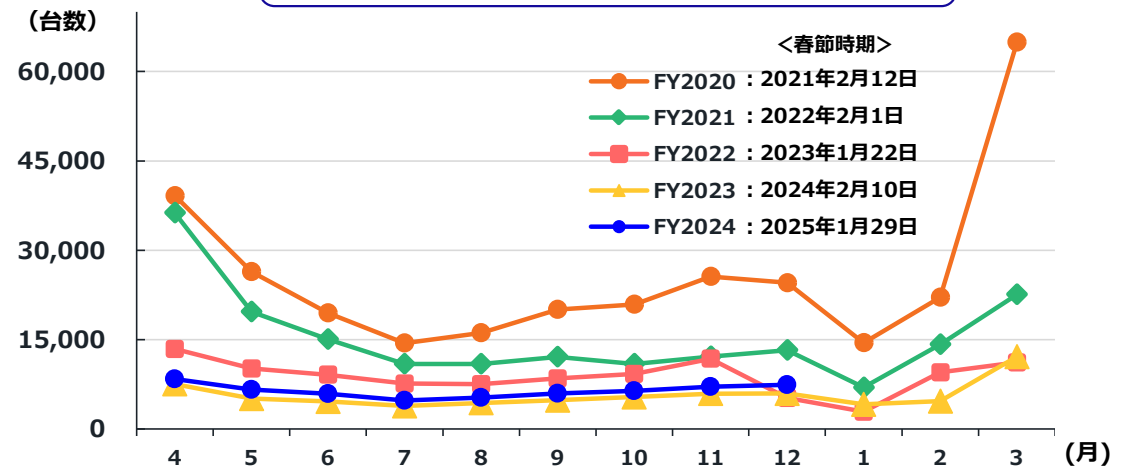
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



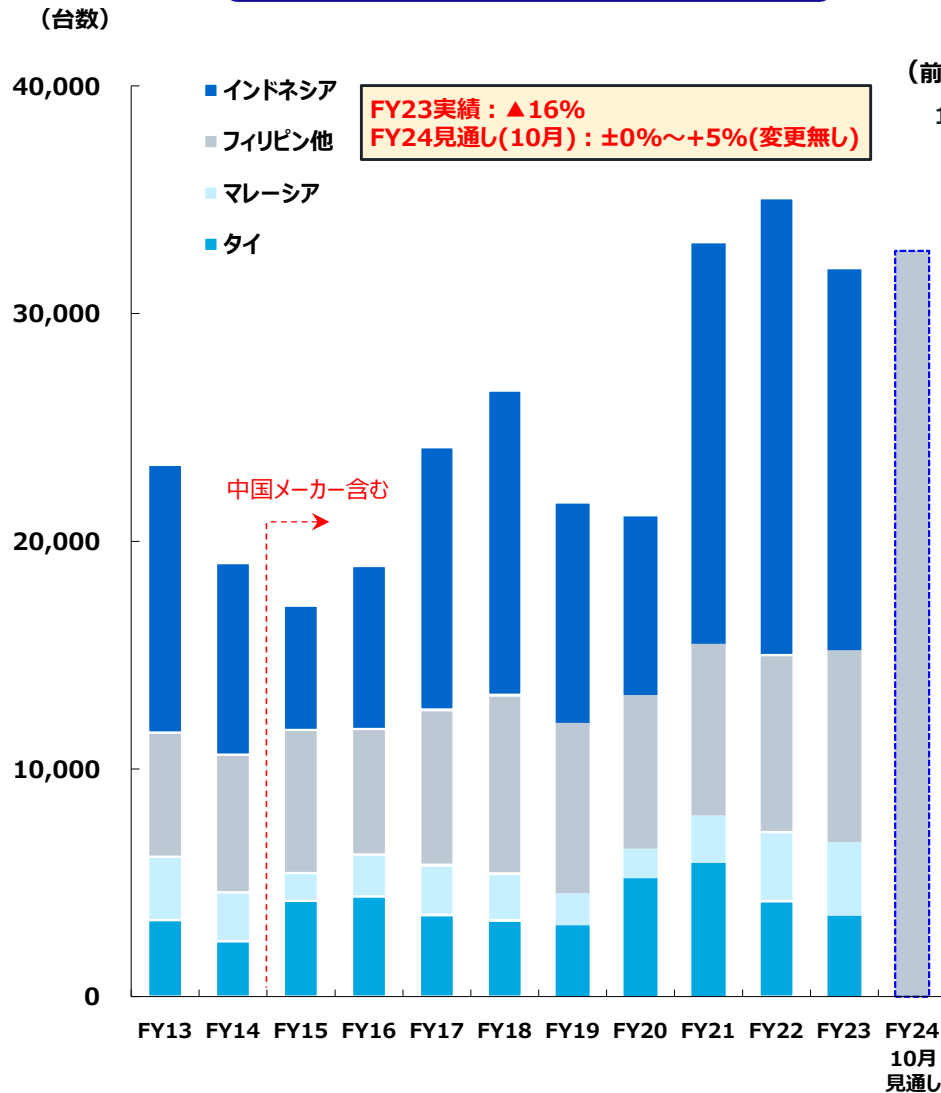
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：⑤ 東南アジア

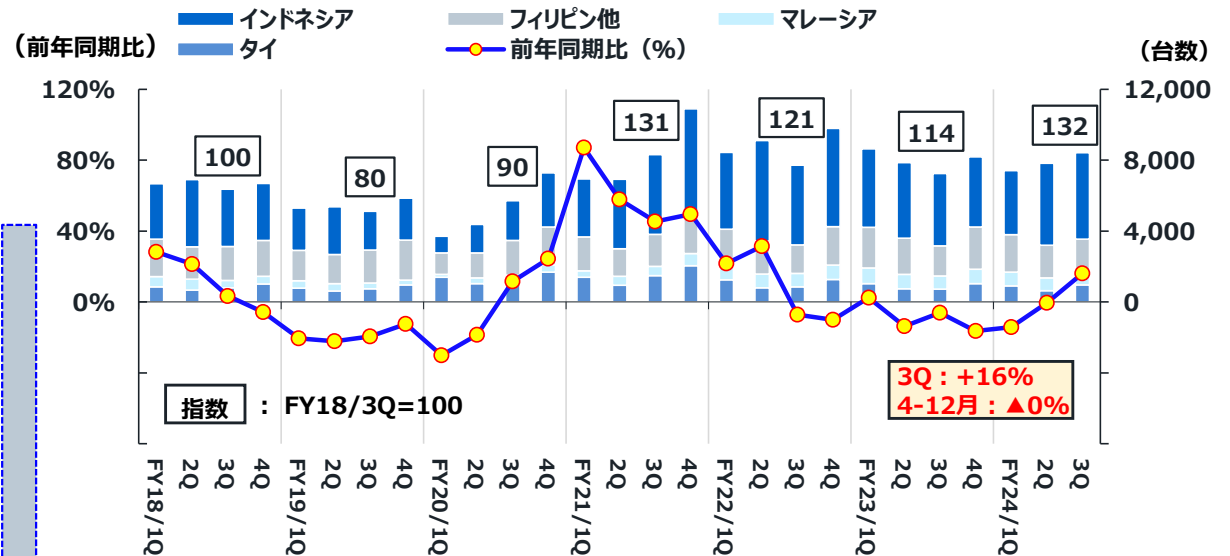
- ・2024年度第3四半期の需要は、前年同期比+16%の増加。インドネシアでは一般建機の需要回復が継続、石炭価格が堅調に推移し、鉱山機械の需要も通期では前年並み。
- ・2024年度の需要は、±0%～+5%の見通し（10月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移

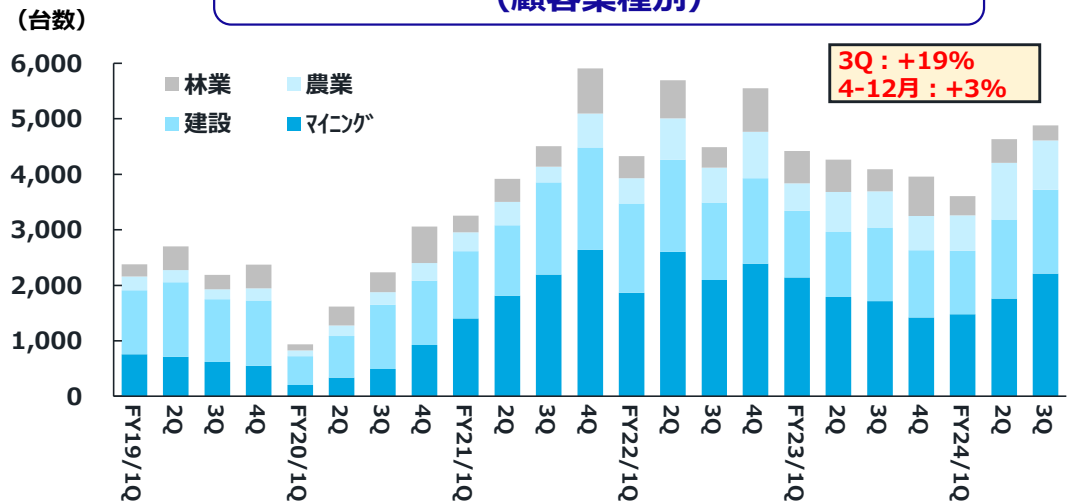


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移

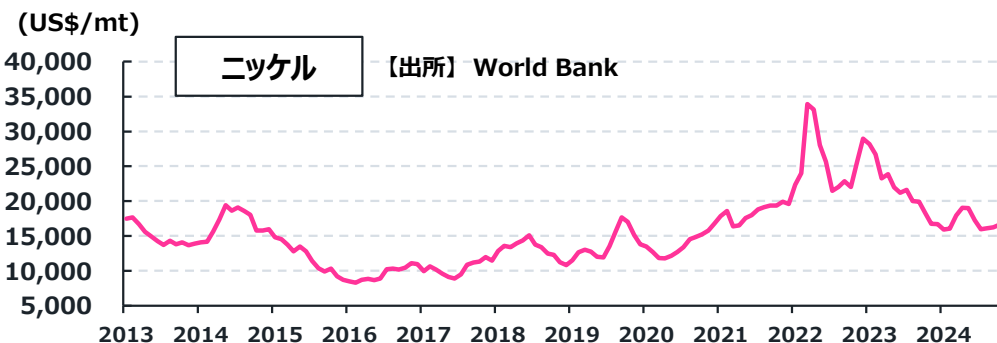
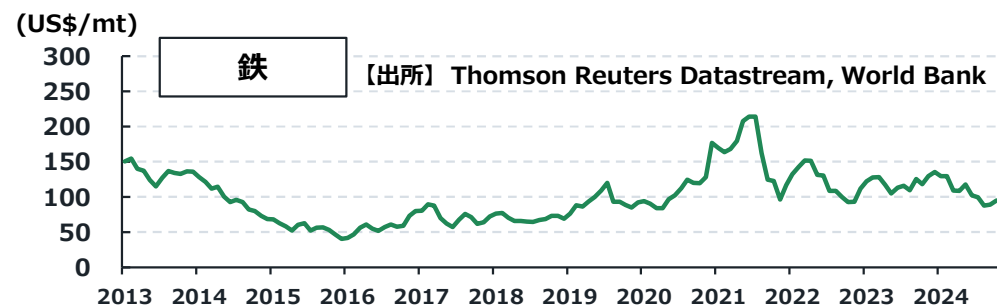
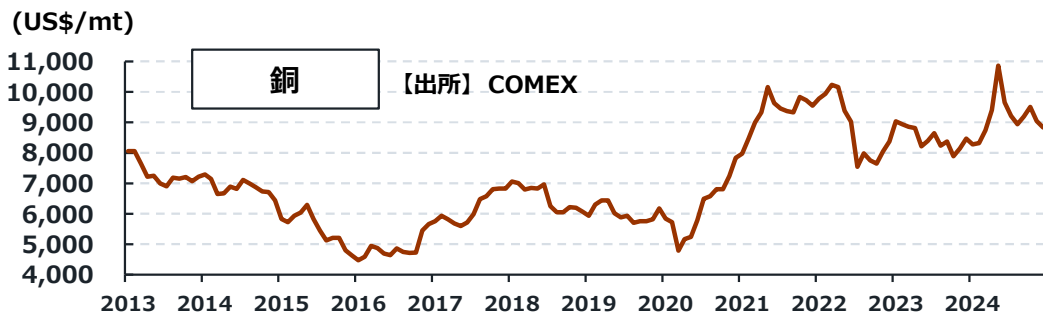
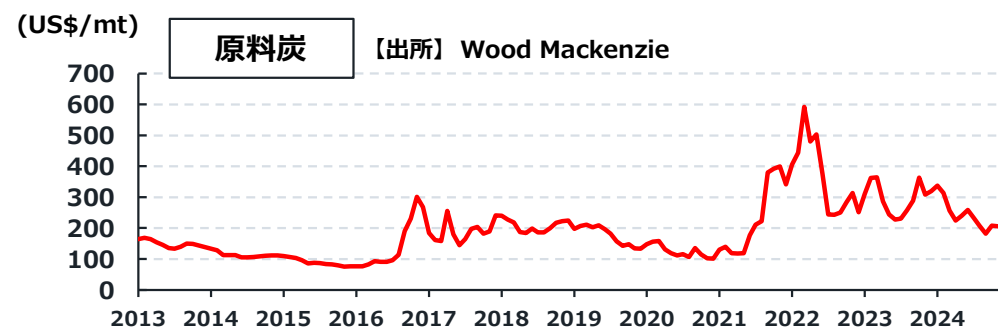
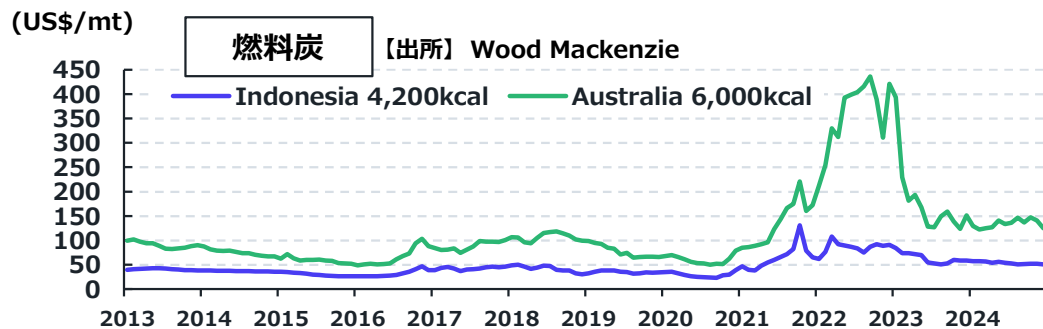


インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)



<建設機械・車両> 主要鉱物の価格推移と見通し

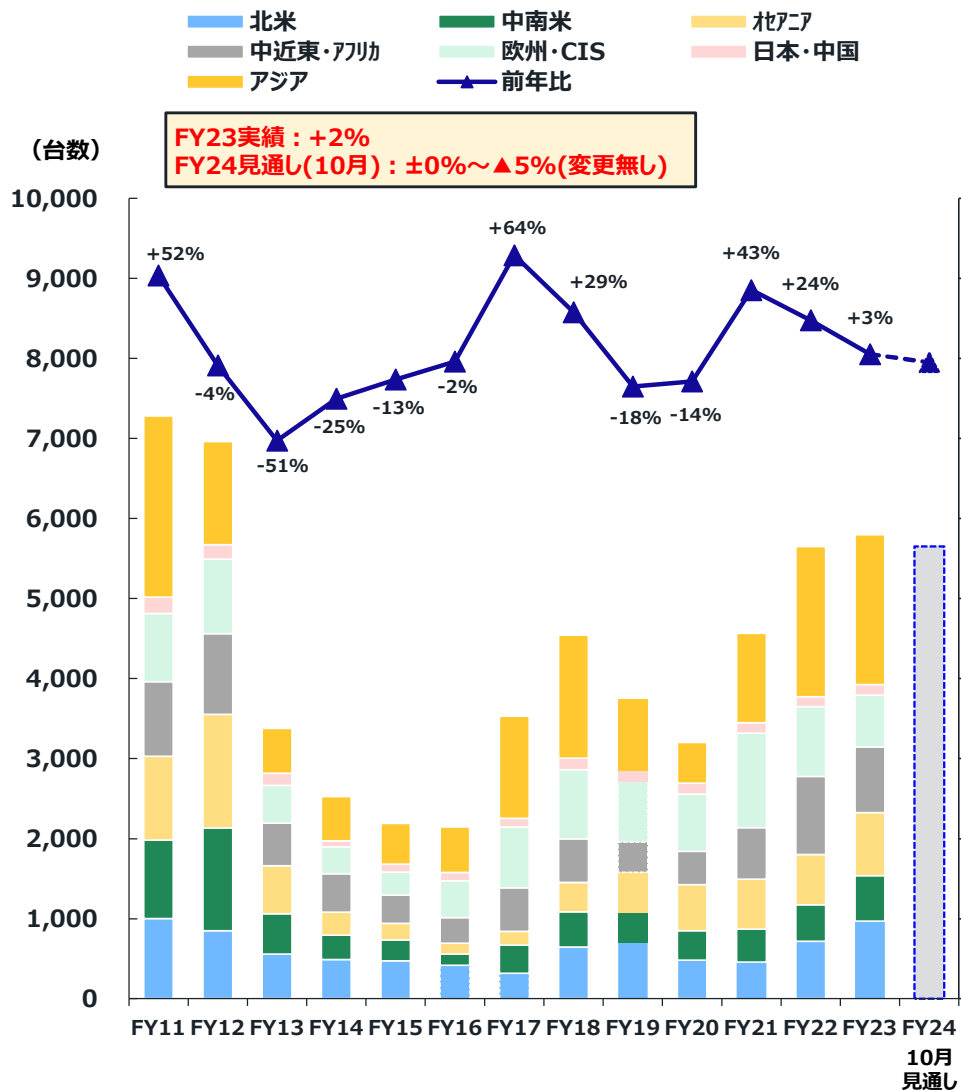
- ・主要鉱物の価格は、足元での上下はあるものの、長期的に見ると高値の水準を維持。
- ・燃料炭は、豪州は水準を維持、インドネシアは長期的には緩やかに下落の見通しも、2024年度は現在の水準を維持する見通し。
- ・原料炭/鉄鉱石は、中国での需要減はあるが、足元では安定して推移。
- ・銅は、将来の需給バランス懸念による価格上下はあるが、2024年度は高位で推移する見通し。



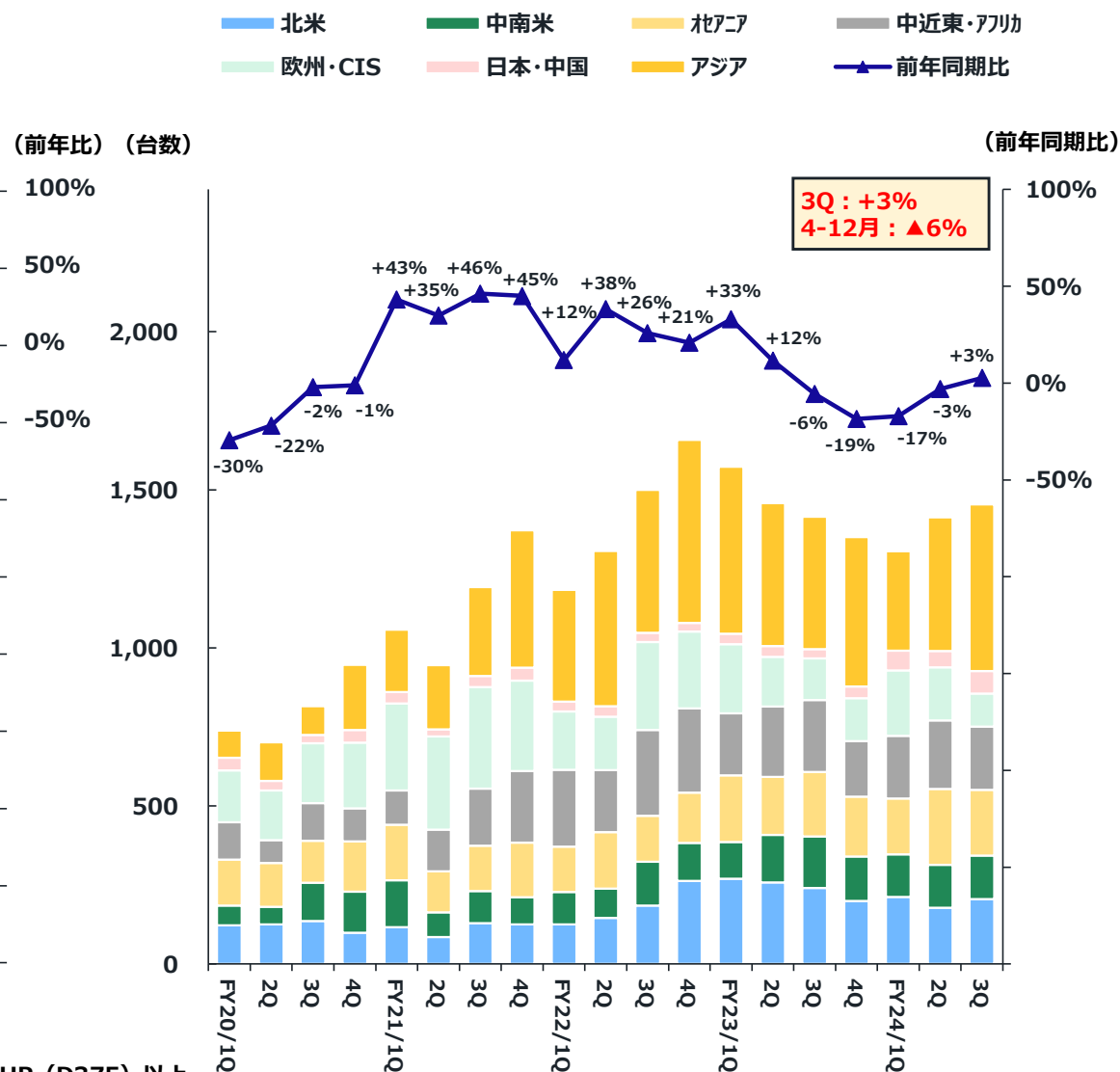
<建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2024年度第3四半期の需要は、前年同期比+3%の増加。
- ・2024年度の需要は、前年比±0%~▲5%の見通し（10月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移



鉱山機械 四半期別需要推移

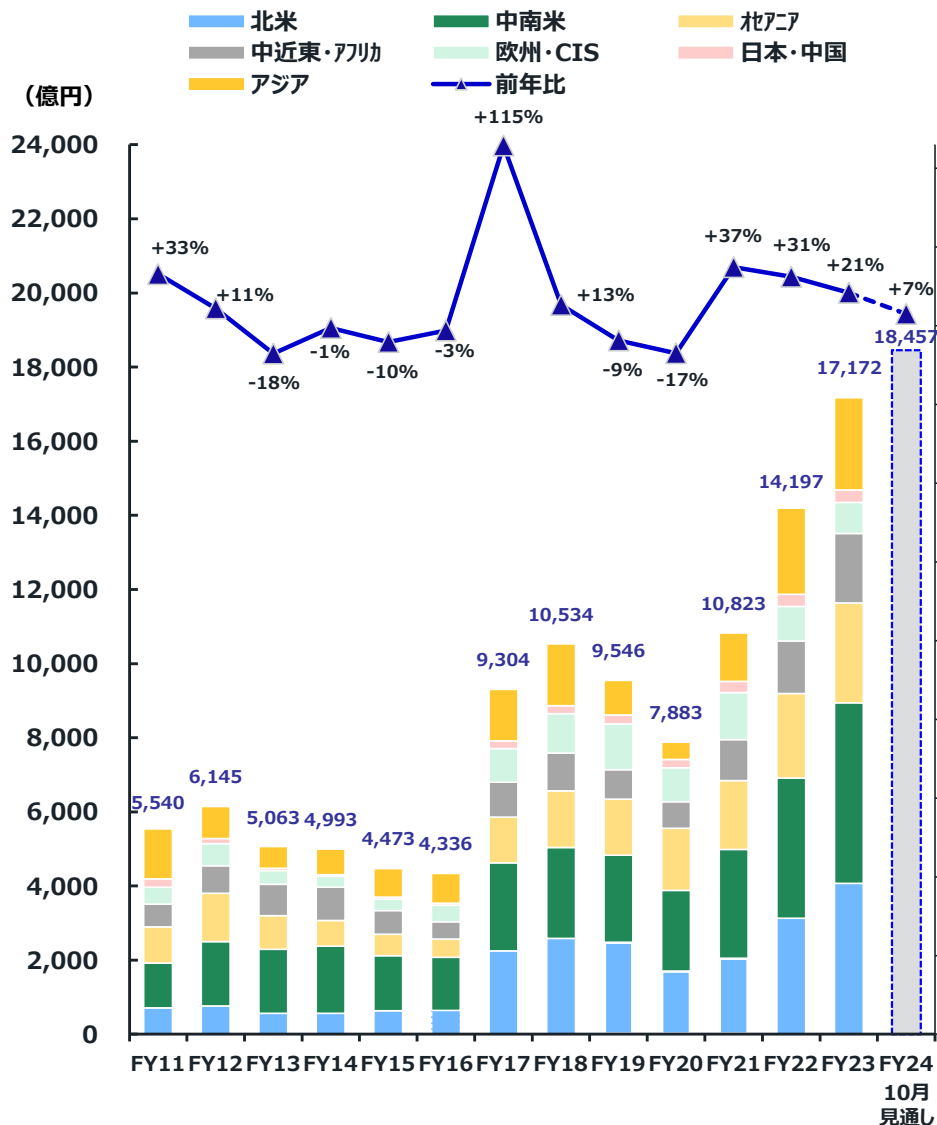


【出所】 コマツの推定
 ・ダンプトラック: 75t (HD785) 以上 ・バルドーザ: 525HP (D375) 以上
 ・エクスカバータ: 200t (PC2000) 以上 ・ホイラーダ: 810HP (WA800) 以上
 ・モーターグレーダ: 280HP (GD825) 以上

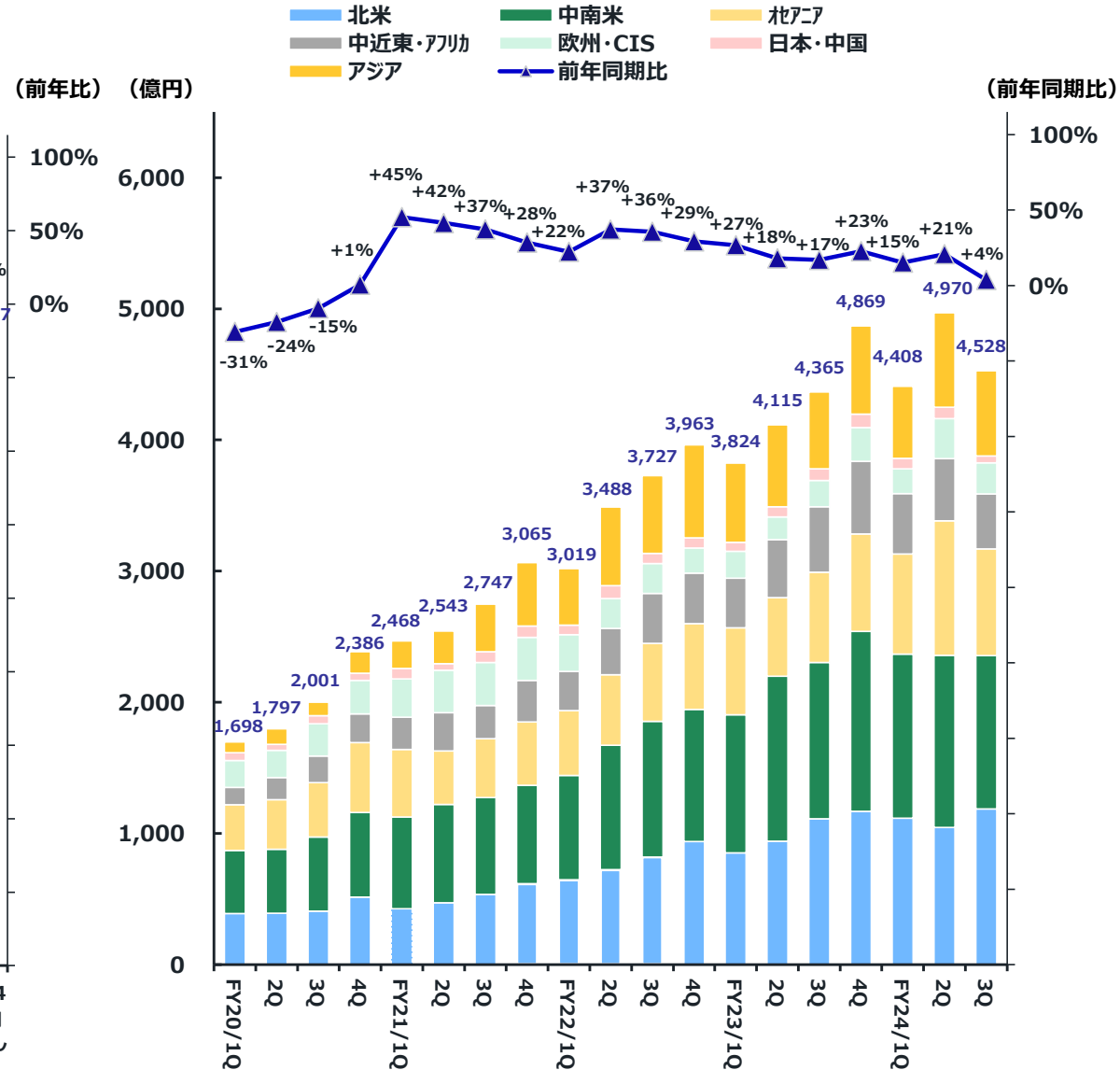
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2024年度第3四半期の売上高は、前年同期比+4%増収の4,528億円。
- ・2024年度の売上高は、前年比+7%増収の1兆8,457億円の見通し（10月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



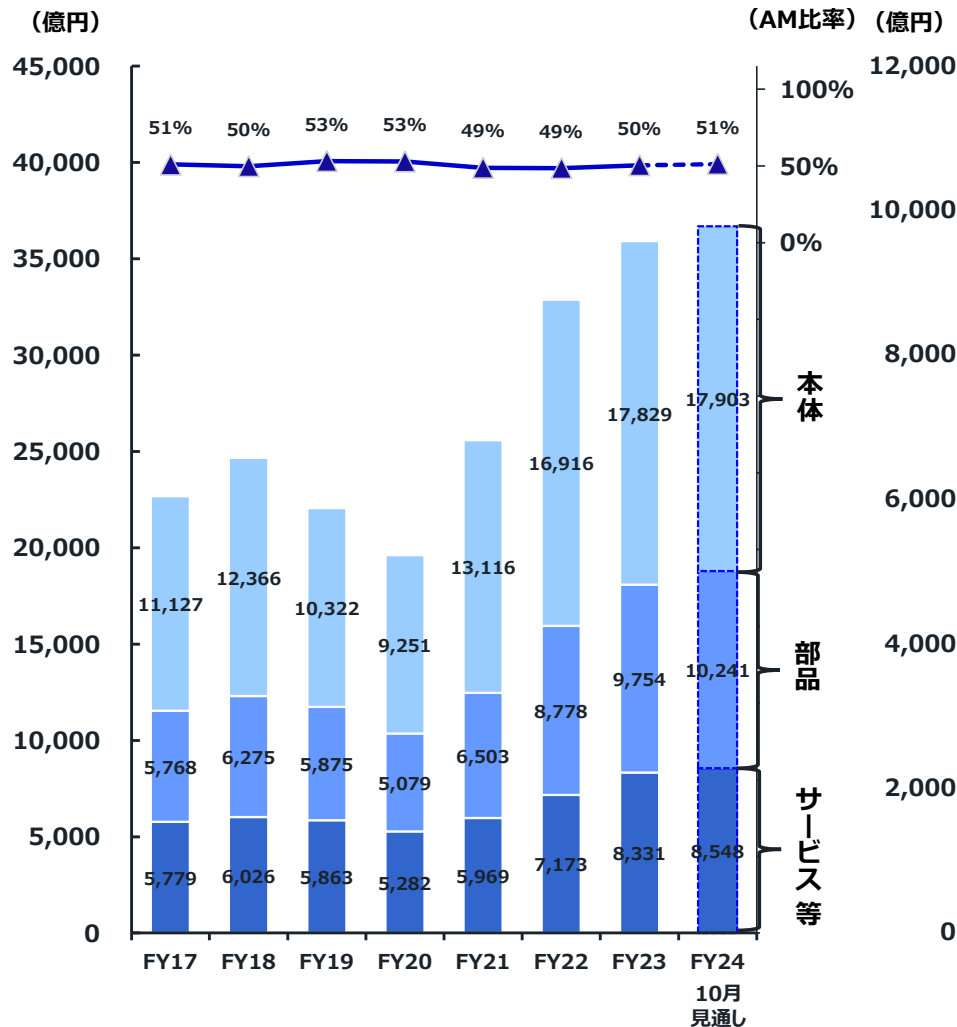
鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



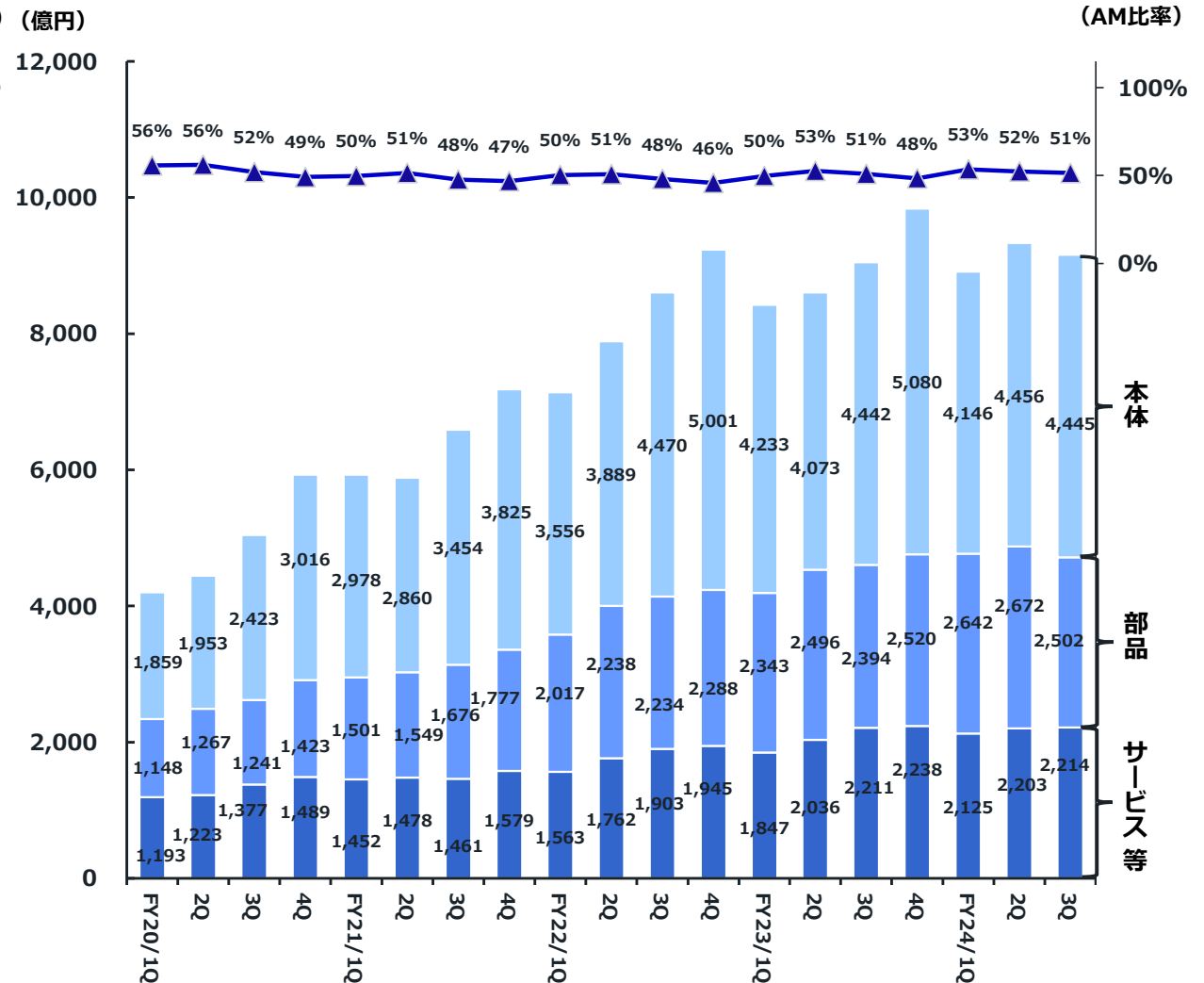
<建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2024年度第3四半期の部品売上高は、前年同期比+5%増収の2,502億円。
サービス等をあわせたアフターマーケット比率（AM比率）は51%。
- ・2024年度の部品売上高は、前年比+5%増収の1兆241億円の見通し（10月見通しから変更無し）。
サービス等をあわせたアフターマーケット比率は、51%の見通し。

年度別売上高



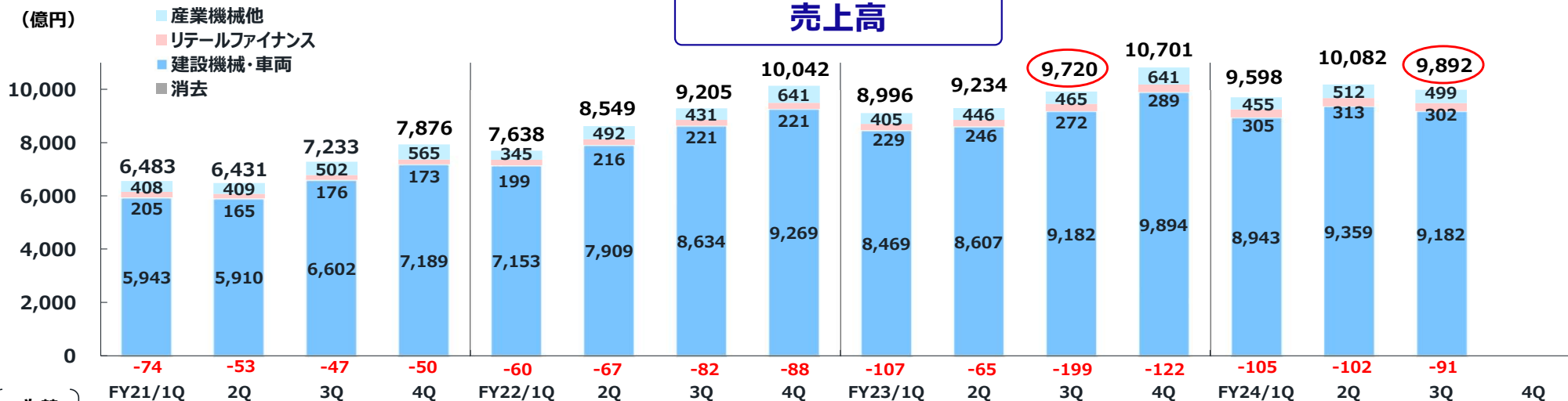
四半期別売上高



参考資料

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

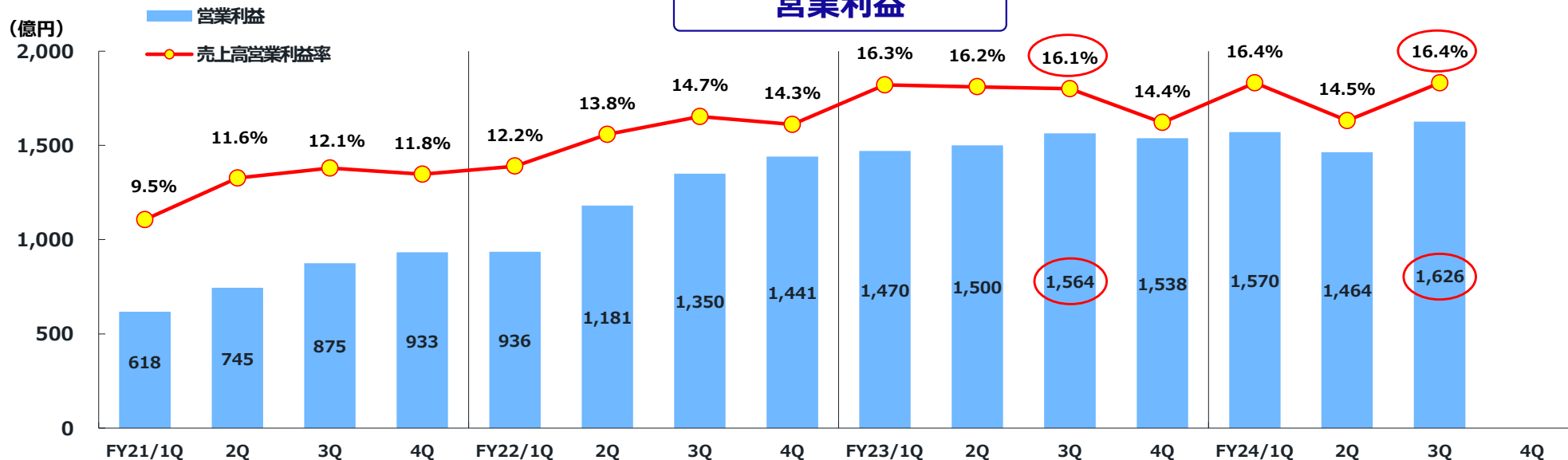
売上高



為替
レート

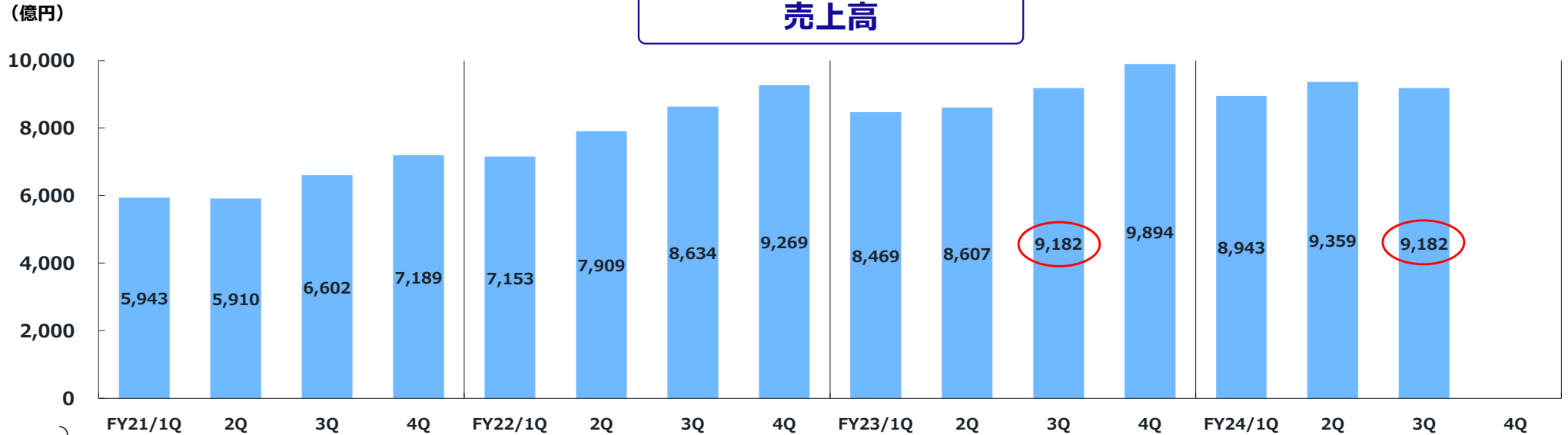
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	

営業利益



【参考資料】〈建設機械・車両〉 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

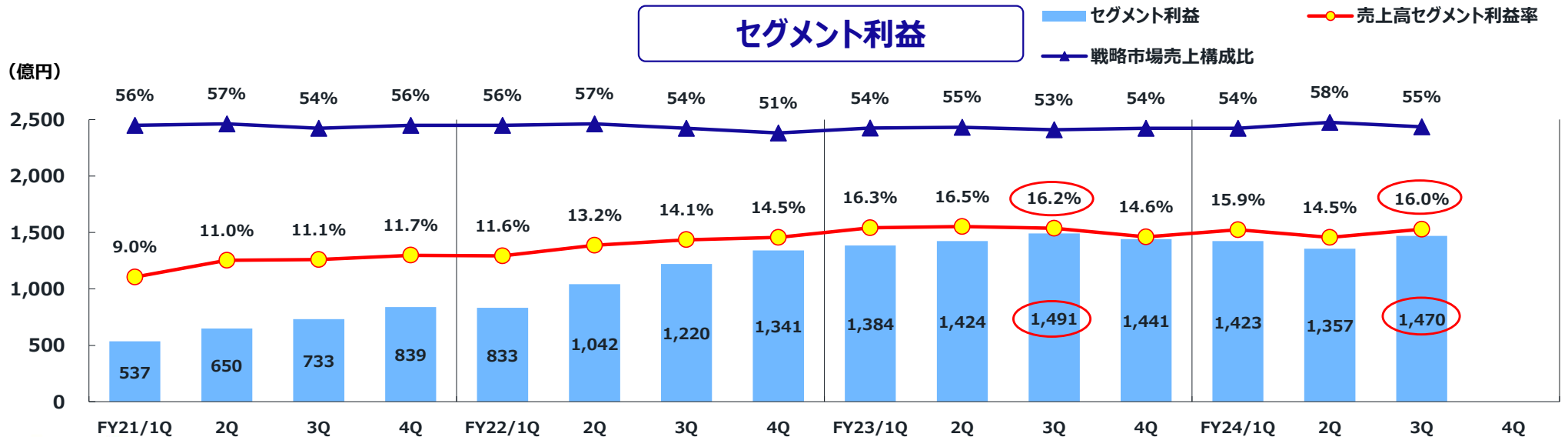
売上高



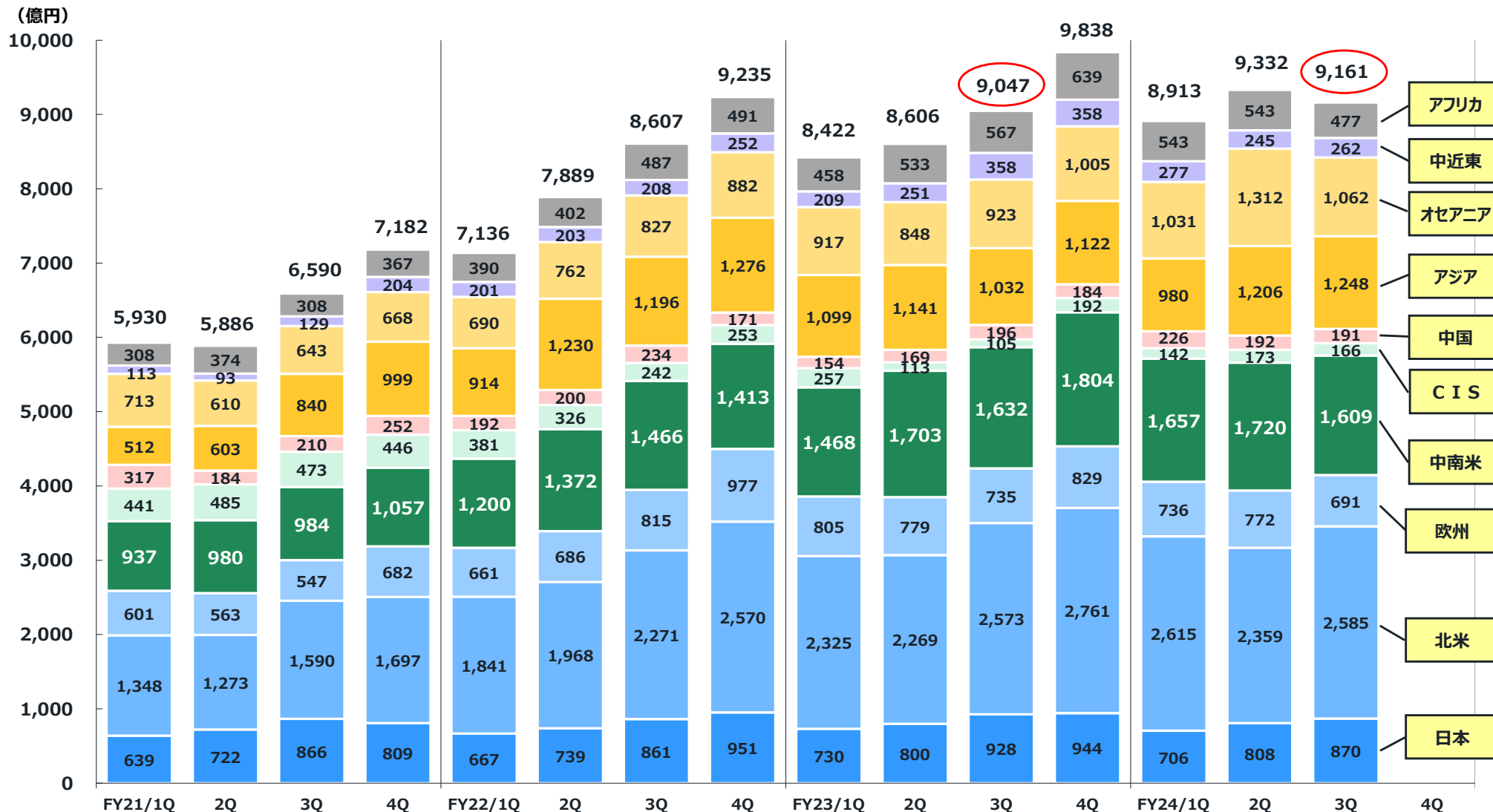
為替
レート

	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	-
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	-
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	-

セグメント利益



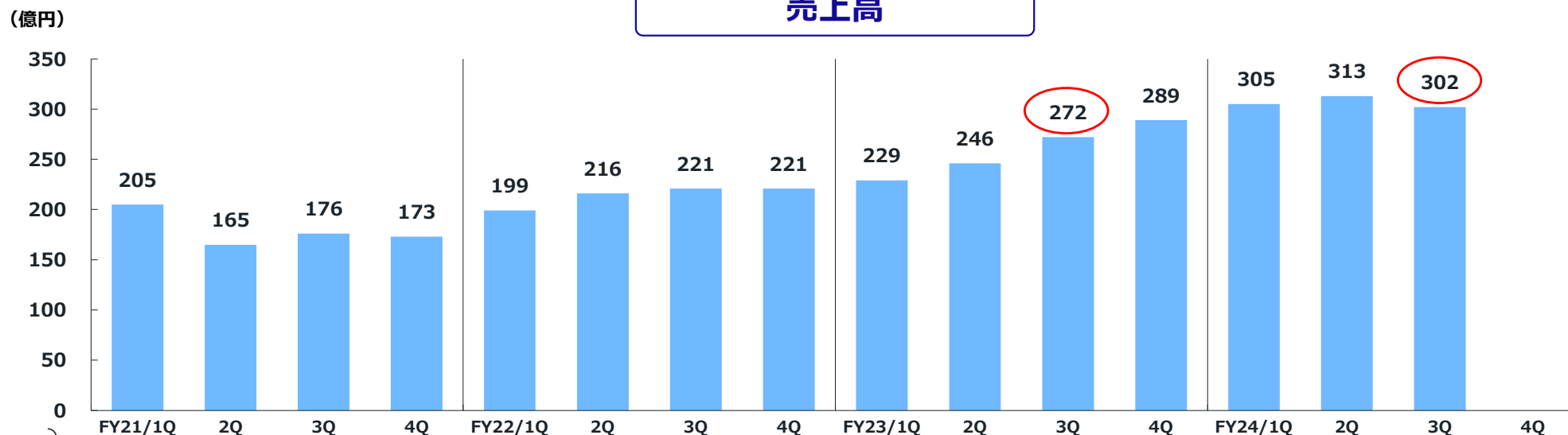
【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



為替レート	FY21				FY22				FY23				FY24			
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

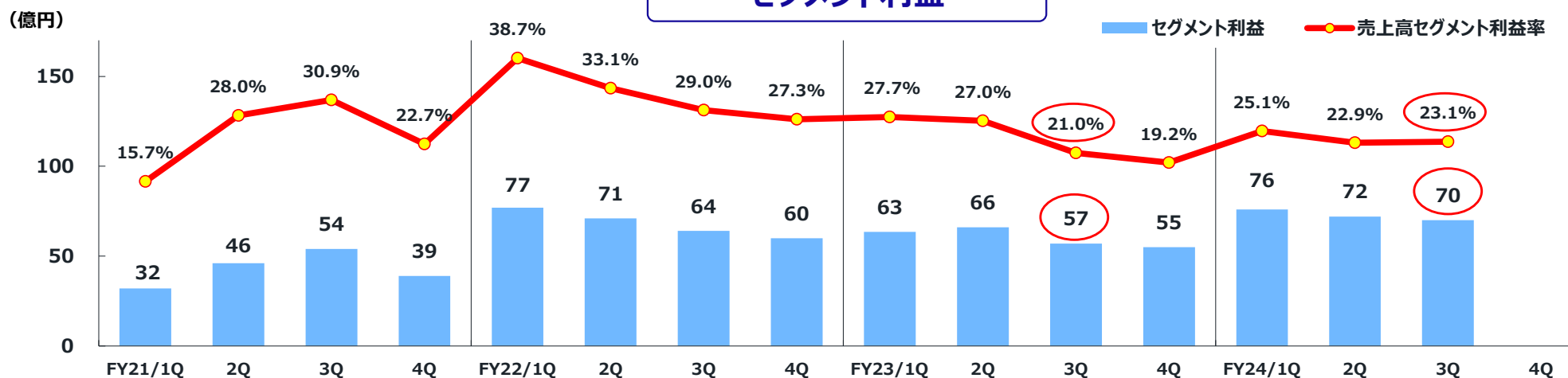
売上高



為替
レート

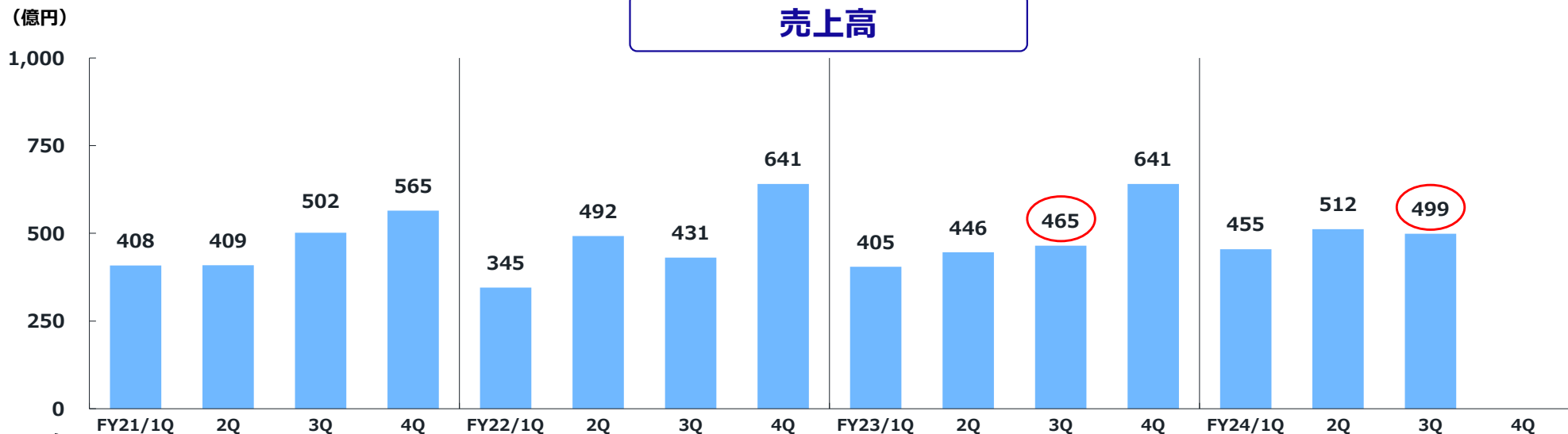
	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	-
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	-
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	-

セグメント利益



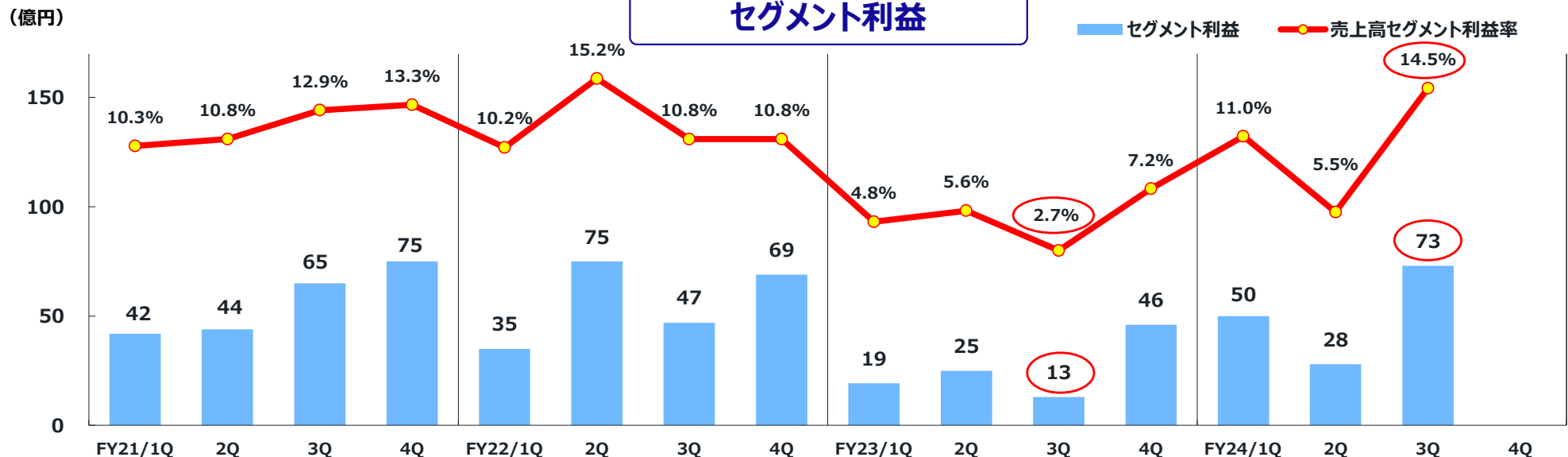
【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高



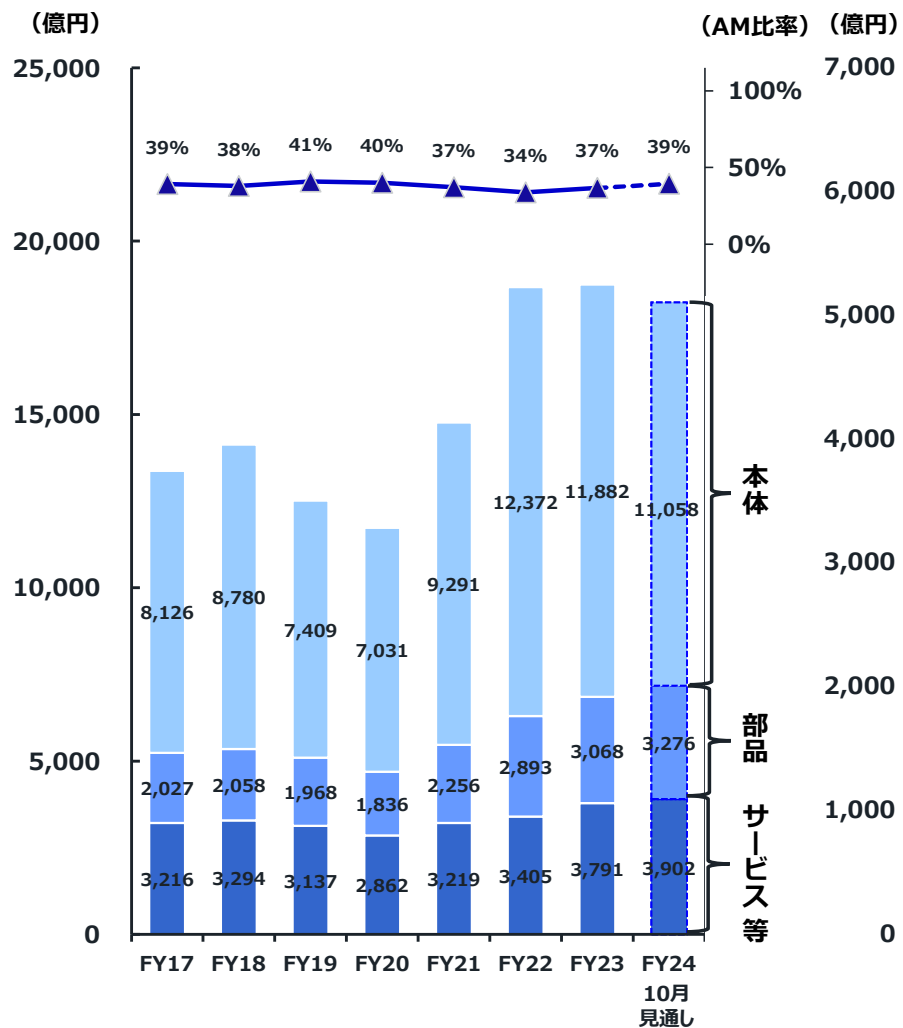
為替レート	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q
¥/USD	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	-
¥/EUR	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	-
¥/AUD	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	-

セグメント利益

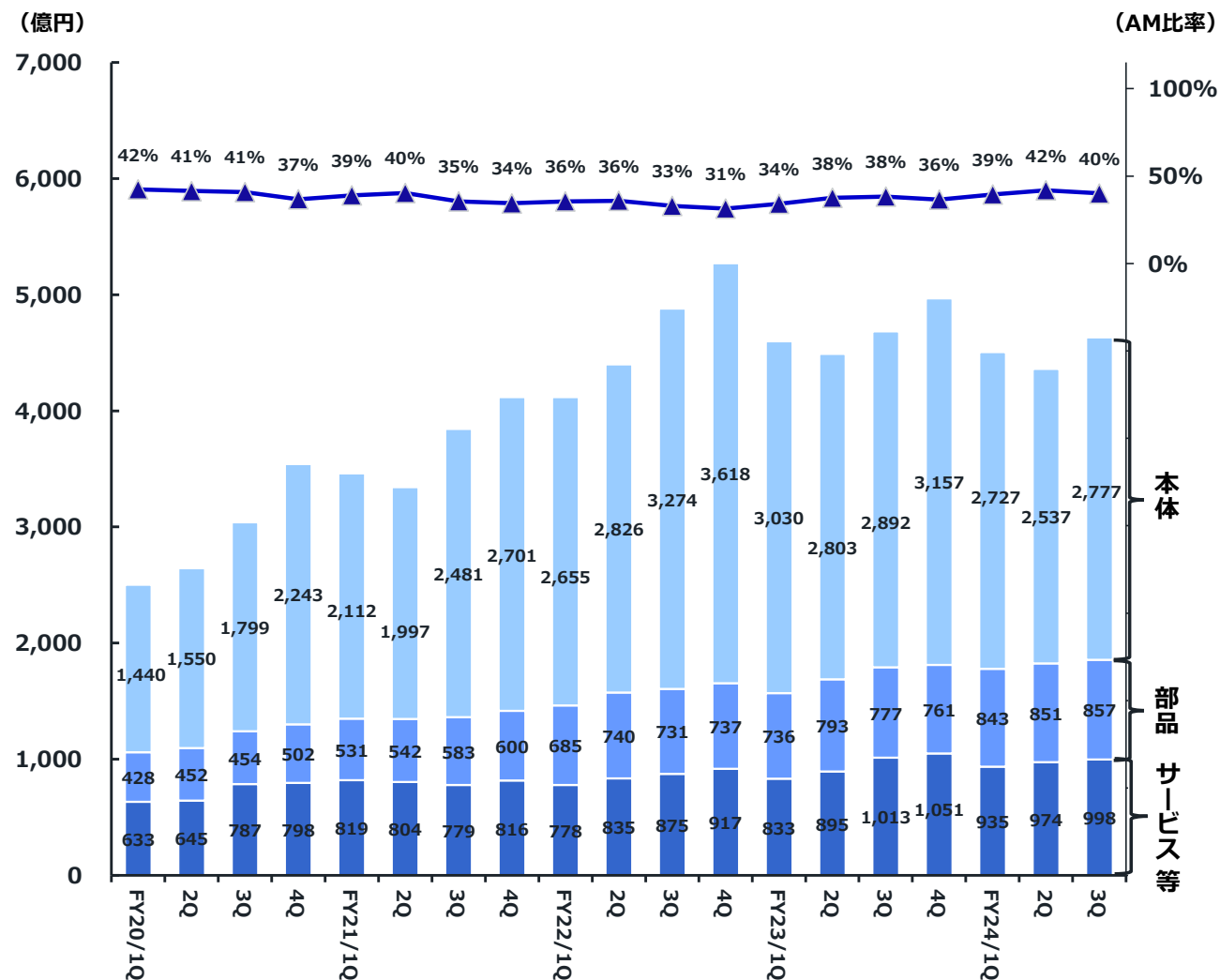


【参考資料】 <一般建機> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

年度別売上高

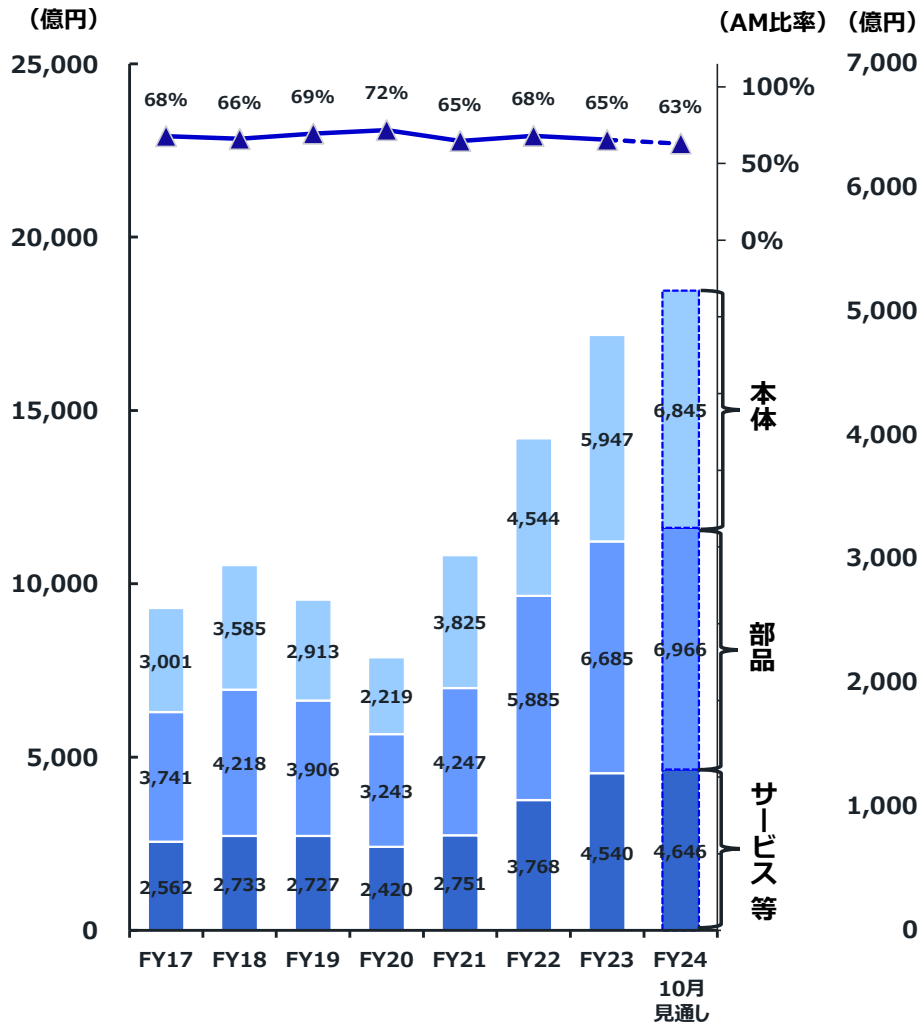


四半期別売上高

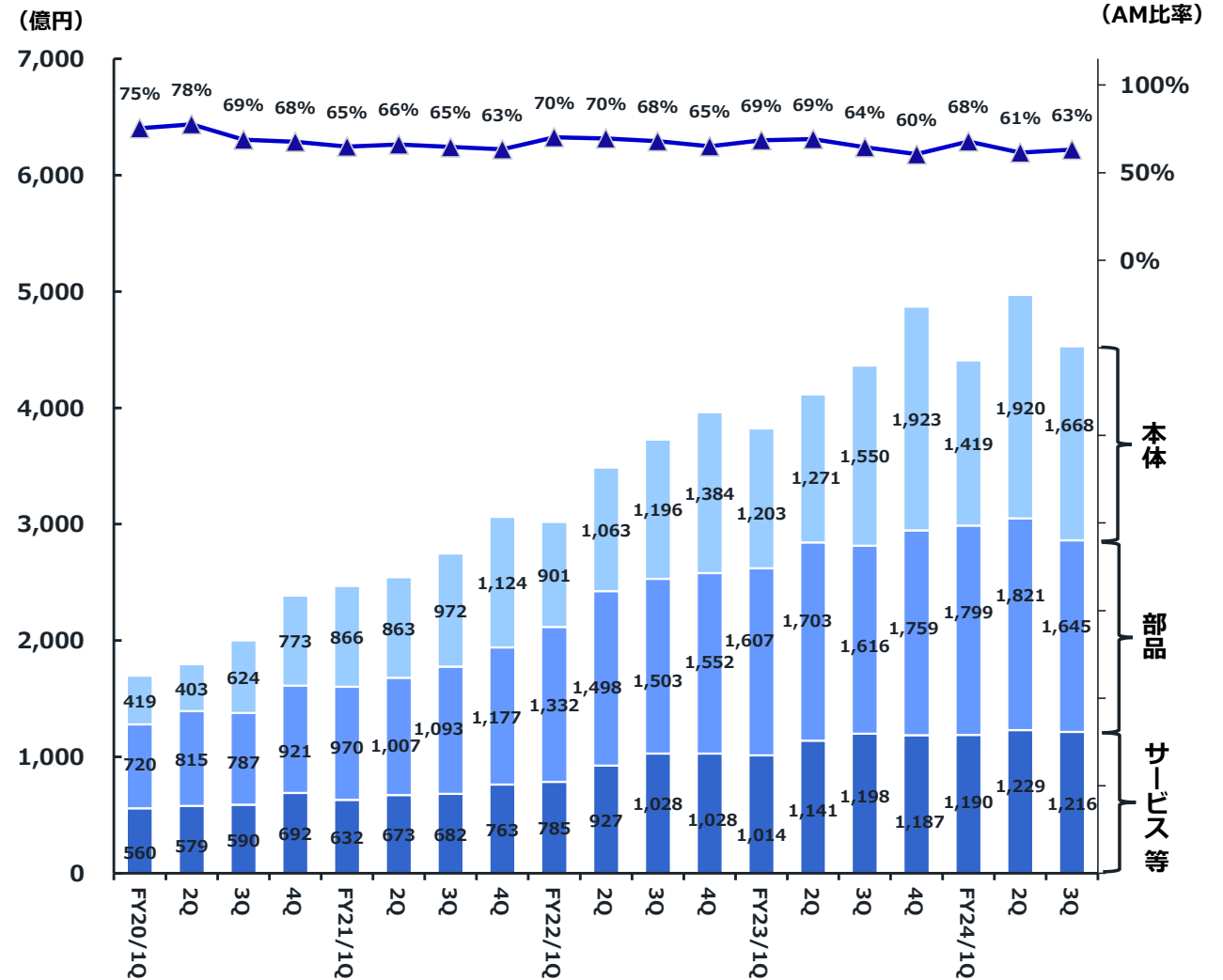


【参考資料】 < 鉱山機械 > 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

年度別売上高

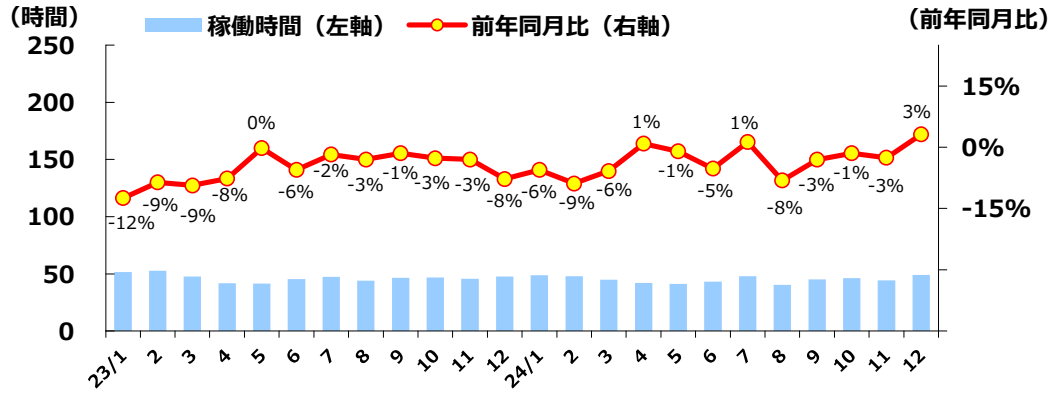


四半期別売上高

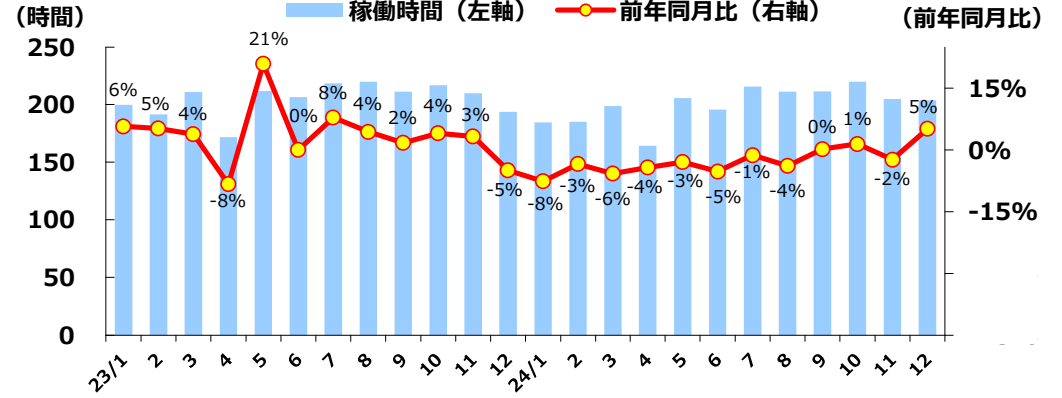


【参考資料】Komtrax 月平均稼働時間推移

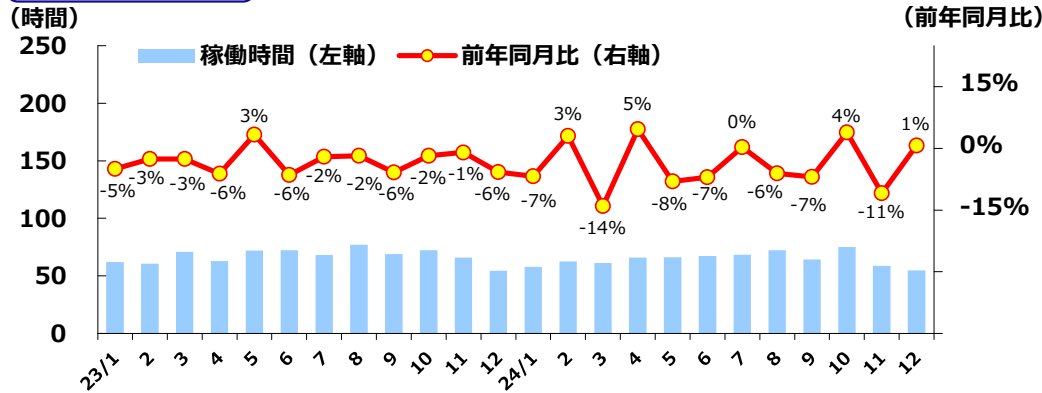
日本



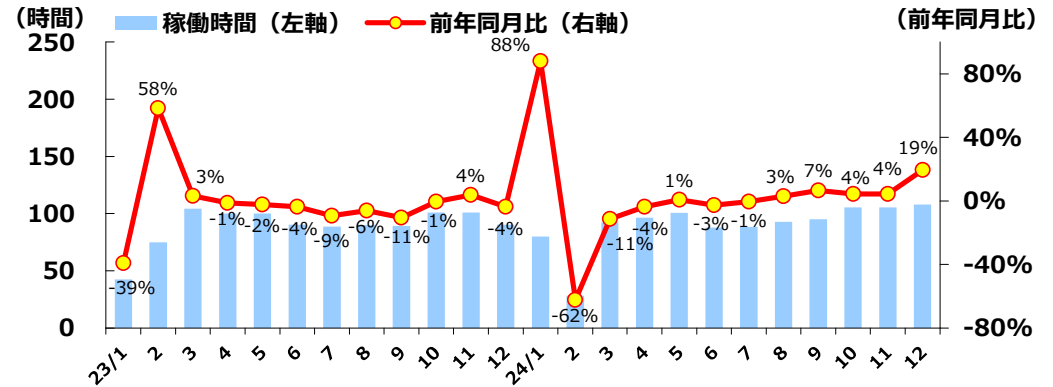
インドネシア



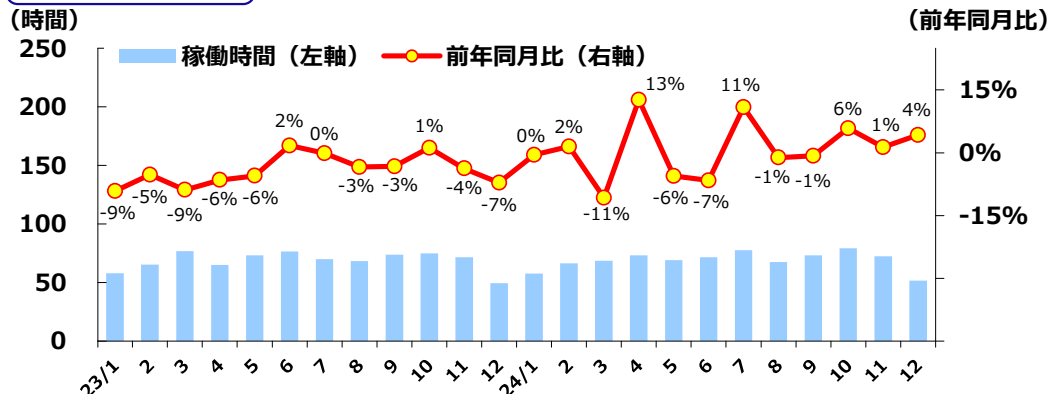
北米



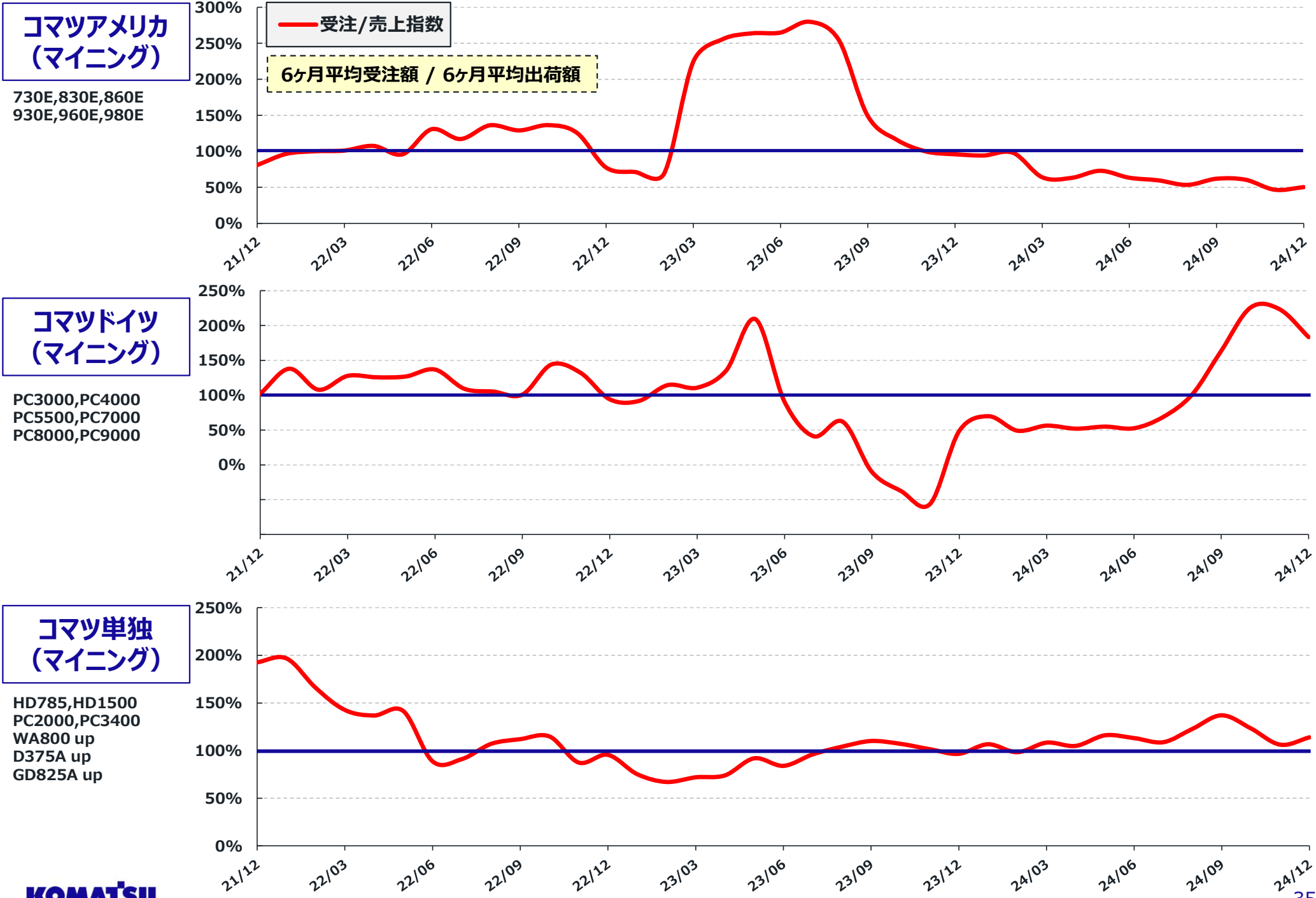
中国



欧州



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

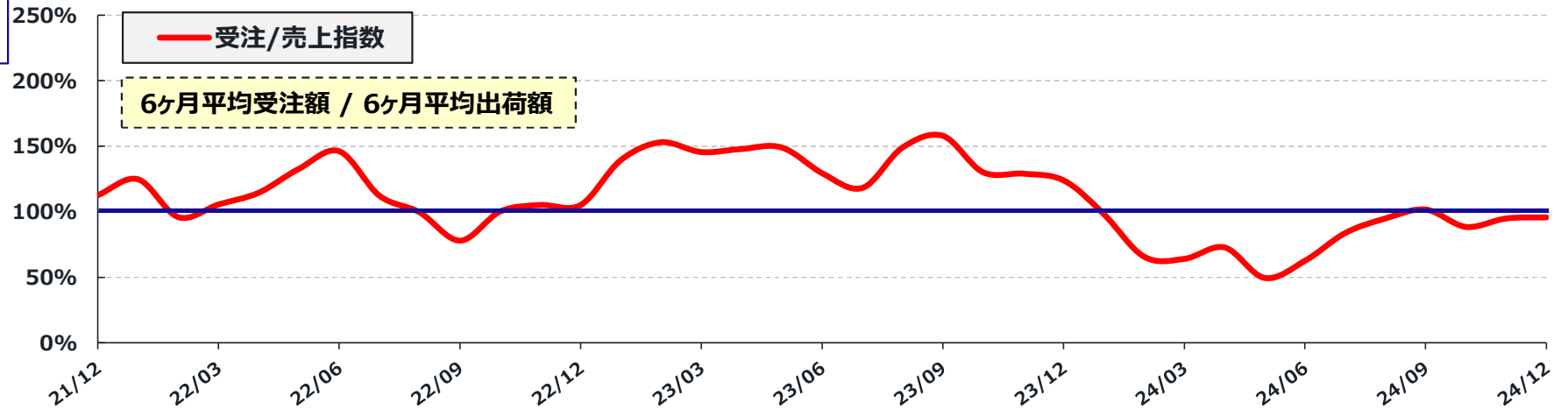


【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

<坑内掘り>
コンティニューアスマイナ
シアラー
ロードホールダンプ
ジャンボドリル他



-3D施工機能を標準装備- 新世代油圧ショベルPC200i-12を新発売

- ・コマツは、主力機種である20トンクラスの油圧ショベルをフルモデルチェンジし、3Dマシンガイダンス(以下、3DMG)を標準装備した新世代機PC200i-12として、日本で12月1日より発売開始しました。
- ・今後、ICT施工の普及・拡大が進展する中で、3DMGを標準装備し、お客さまのさまざまなICT施工ニーズに対応するため、3Dマシンコントロール(以下、3DMC)への切り替えも可能とし、3DMCの利用度に応じたプランの提供も新たに開始し、コマツの強みであるスマートコンストラクション®との連携を加速していきます。

従来ラインアップ

標準



PC200-11

3Dマシンガイダンス装備



PC200-11 + 3DMG後付け

3Dマシンコントロール装備



PC200i-11

機種統合・一本化

3Dマシンガイダンス
“標準”装備



PC200i-12

3Dマシンコントロール
“選択”可能

-3D施工機能を標準装備- 新世代油圧ショベルPC200i-12を新発売

●3Dマシンコントロール 選択可能システム【業界初】

プランA Intelligent machine control | **3.0**

3Dマシンコントロール **無制限**

3Dマシンガイダンス **標準装備**

3D MACHINE CONTROL SELECTABLE SYSTEM

プランB Intelligent machine control | **3.0**

3Dマシンコントロール **利用時払い**

3Dマシンガイダンス **標準装備**

プランC

3D-MG | Machine Guidance

マシンガイダンスのみ

●自動旋回【業界初】



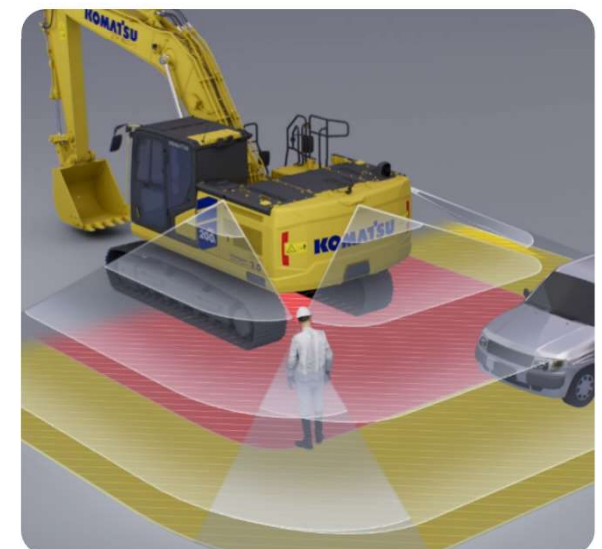
掘削した土をダンプに積み込む際、自動で旋回、経験が浅くてもストレスなく作業

●ジオフェンス【業界初】



衝突回避範囲を判定し自動停止するジオフェンス機能 (3D)

●衝突検知ブレーキシステム【業界初の標準装備】



自動でブザーによる注意喚起、危険時の速度制御、停止

-月面建設機械や水中施工ロボットを紹介- 世界最大級のテクノロジー見本市「CES 2025」に初出展

- ・コマツは、2025年1月7日から10日にかけて米国ネバダ州 ラスベガスで開催された世界最大級のテクノロジー見本市「CES 2025」(Consumer Electronics Show 2025)に初出展しました。
- ・月面や水中の極限環境下にも対応する建設機械や、2050年カーボンニュートラルに向けた技術革新の取り組みを紹介し、コマツの先進性と将来性を発信しました。



株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2024>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。